

注3

大学番号：私054

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

跡見学園女子大学 心理学部

注2

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人跡見学園
令和元年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	大学事務局 庶務課
職名・氏名	<small>カチョウ ナカムラ ヒデアキ</small> 課長 中村 英昭
電話番号	03-3941-7420
（夜間）	03-3941-7420
F A X	03-3941-8333
e-mail	d-shomu@atomi.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
 () 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
- 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
 (旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
- 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
- 例)
- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
 - 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 - 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 - 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 - 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 - 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 - 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 - 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

心理学部

<臨床心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	5
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	33
4. 既設大学等の状況	34
5. 教員組織の状況	36
6. 附帯事項等に対する履行状況等	58
7. その他全般的事項	59

別紙資料

資料1. 跡見学園女子大学大学評議会規程	63
資料2. 跡見学園女子大学学則	67
資料3. 跡見学園女子大学教授会規程	113
資料4. 跡見学園女子大学教授会各種委員会規程	115
資料5. 跡見学園女子大学自己点検・評価に関する規程	117

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人跡見学園

(2) 大学名

跡見学園女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

文京キャンパス（本部）	3・4年次	〒112-8687	東京都文京区大塚一丁目5番2号
新座キャンパス	1・2年次	〒352-8501	埼玉県新座市中野一丁目9番6号
菊坂跡見塾		〒113-0033	東京都文京区本郷五丁目9番4号
文京キャンパス別館		〒112-0012	東京都文京区大塚二丁目1番17号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤマザキ カズヒデ) 山崎 一穎 (平成21年4月)	(ヤマザキ カズヒデ) 山崎 一穎 (平成21年10月)	事務上の記載ミスにより (元)
学長	(ヤマダ テツオ) 山田 徹雄 (平成22年4月)	(カサハラ キヨシ) 笠原 清志 (平成30年4月)	任期満了のため(30)
学部長	(ノジマ カズヒコ) 野島 一彦 (平成30年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
心理学部 臨床心理学科 学士(臨床心理学)	文学関係	4年	120人	— 年次人	480人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	120 () []	— () []	120 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.23倍 1.18倍	一倍	
志願者数	436 () []	— () []	854 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
受験者数	423 () []	— () []	827 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
合格者数	248 () []	— () []	324 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
B 入学者数	142 () []	— () []	154 () []	— () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.18		1.28										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	142		154								
	[-] [-] (-) (-)		[-] [-] (-) (-)		[] [] () ()		[] [] () ()		[] [] () ()		
2年次			139								
			[-] [-] (-) (-)		[] [] () ()		[] [] () ()		[] [] () ()		
3年次							[] [] () ()		[] [] () ()		
4年次									[] [] () ()		
計	142		293						[] [] () ()		
	[-] [-] (-) (-)		[-] [-] (-) (-)		[] [] () ()		[] [] () ()		[] [] () ()		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	142 人	3 人	平成30年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への転学(1名)
令和元年度	293 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		3 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{142} = \boxed{2.11} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{293} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<心理学部 臨床心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼3
	英語A II a	1後	2								兼3
	英語A II b	1後	2								兼2
	英語A III a	2前	2								兼3
	英語A III b	2前	2								兼3
	英語A IV a	2後	2								兼3
	英語A IV b	2後	2								兼1
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼4
	英語 II	1後	2								兼2
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼5
	フランス語 IV	2後	2								兼5
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼5
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼2
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1・2前・後	1								兼1
	英語再入門A	1前・2前	1								兼2
	英語再入門B	1前・2前	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後	1								兼1	
フランス語上級 I	3・4前	1								兼1	
フランス語上級 II	3・4後	1								兼1	
ドイツ語上級 I	3・4前	1								兼1	
ドイツ語上級 II	3・4後	1								兼1	
中国語上級 I	3・4前	1								兼1	
中国語上級 II	3・4後	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	1								兼1	
小計(63科目)	-	0	99	0	0	0	0	0	0	0	兼67
情報リテラシー I	1前	1									兼2
情報リテラシー II	1後	1									兼3

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼5
	英語A II a	1後	2								兼4
	英語A II b	1後	2								兼3
	英語A III a	2前	2								兼5
	英語A III b	2前	2								兼4
	英語A IV a	2後	2								兼5
	英語A IV b	2後	2								兼4
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼5
	英語 II	1後	2								兼3
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼4
	フランス語 IV	2後	2								兼4
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼6
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼3
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1・2前・後	1								兼1
	英語再入門A	1前・2前	1								兼2
	英語再入門B	1前・2前	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前	1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後	1								兼1	
フランス語上級 I	3・4前	1								兼1	
フランス語上級 II	3・4後	1								兼1	
ドイツ語上級 I	3・4前	1								兼1	
ドイツ語上級 II	3・4後	1								兼1	
中国語上級 I	3・4前	1								兼1	
中国語上級 II	3・4後	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	1								兼1	
小計(63科目)	-	0	99	0	0	0	0	0	0	0	兼76
情報リテラシー I	1前	1									兼2
情報リテラシー II	1後	1									兼3

	心身医学	3・4後	2															兼1
	子どものこととからだ	3・4前	2															兼1
	小計(32科目)	-	0	64	0	5	2	1	0	0								兼15
特殊演習	心理演習	3前	2			1		1										
	遊戯・芸術療法	3・4後	1			1												
	心理的アセスメント	3・4前	1				1											
	小計(3科目)	-	0	4	0	2	1	1	0	0								兼0
実習	心理学実験	2前・後	2			1												
	健康心理アセスメント実習	3・4前	2					1										
	心理実習A	3・4前	1			1	1											
	心理実習B	3後	1			1	1	1										
	心理実習C	3前	1			1	1	1										
小計(5科目)	-	2	5	0	3	1	2	0	0									兼0
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1			6	2	2										
	臨床心理学演習 I B	3後	1			6	2	2										
	臨床心理学演習 II A	4前	1			6	2	2										
	臨床心理学演習 II B	4後	1			6	2	2										
小計(4科目)	-	4	0	0	6	2	2	0	0									兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	2	2										
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0								兼0
合計(282科目)			-	21	458	0	6	2	2	0	0							兼203
卒業要件及び履修方法																		
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限:半期22単位)</p> <p>全学共通科目 ＜前期課程＞ 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 ＜後期課程＞ 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 ＜前期課程＞ 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 ＜後期課程＞ 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																		

	心身医学	3・4後	2															兼1
	子どものこととからだ	3・4前	2															兼1
	小計(32科目)	-	0	64	0	5	2	1	0	0								兼15
特殊演習	心理演習	3前	2					2										
	遊戯・芸術療法	3・4後	1			1												
	心理的アセスメント	3・4前	1				1											
	小計(3科目)	-	0	4	0	2	2	0	0	0								兼0
実習	心理学実験	2前・後	2															兼1
	健康心理アセスメント実習	3・4前	2					1										
	心理実習A	3・4前	1			1	1											
	心理実習B	3後	1			1	1	2										
	心理実習C	3前	1			1	1	1										
小計(5科目)	-	2	5	0	2	3	1	0	0									兼1
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1			6	3	1										
	臨床心理学演習 I B	3後	1			6	3	1										
	臨床心理学演習 II A	4前	1			6	3	1										
	臨床心理学演習 II B	4後	1			6	3	1										
小計(4科目)	-	4	0	0	6	3	1	0	0									兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	3	1										
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	3	1	0	0								兼0
合計(282科目)			-	21	458	0	6	3	1	0	0							兼215
卒業要件及び履修方法																		
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限:半期22単位)</p> <p>全学共通科目 ＜前期課程＞ 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 ＜後期課程＞ 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 ＜前期課程＞ 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 ＜後期課程＞ 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	英語A I a	1前		2								兼4
	英語A I b	1前		2								兼5
	英語A II a	1後		2								兼3
	英語A II b	1後		2								兼3
	英語A III a	2前		2								兼3
	英語A III b	2前		2								兼3
	英語A IV a	2後		2								兼3
	英語A IV b	2後		2								兼1
	英語B I a	1前		2								兼1
	英語B I b	1前		2								兼1
	英語B II a	1後		2								兼1
	英語B II b	1後		2								兼1
	英語B III a	2前		2								兼2
	英語B III b	2前		2								兼2
	英語B IV a	2後		2								兼2
	英語B IV b	2後		2								兼2
	英語 I	1前		2								兼4
	英語 II	1後		2								兼2
	英語 III	2前		2								兼4
	英語 IV	2後		2								兼5
	フランス語 I	1前		2								兼2
	フランス語 II	1後		2								兼2
	フランス語 III	2前		2								兼5
	フランス語 IV	2後		2								兼5
	ドイツ語 I	1前		2								兼2
	ドイツ語 II	1後		2								兼2
	ドイツ語 III	2前		2								兼5
	ドイツ語 IV	2後		2								兼5
	中国語 I	1前		2								兼2
	中国語 II	1後		2								兼2
	中国語 III	2前		2								兼5
	中国語 IV	2後		2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前		2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後		2								兼3
	朝鮮・韓国語 III	2前		2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後		2								兼3
	英語マルチメディアレッスン	1・2前・後		1								兼1
	英語再入門A	1前・2前・後		1								兼2
	英語再入門B	1前・2前・後		1								兼2
	英語リーディング	2前		1								兼1
	英語ライティング	2後		1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後		1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後		1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後		1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後		1								兼1
	テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前		1								兼1
	テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後		1								兼1
テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前		1								兼1	
テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後		1								兼1	
フランス語上級 I	3・4前		1								兼1	
フランス語上級 II	3・4後		1								兼1	
ドイツ語上級 I	3・4前		1								兼1	
ドイツ語上級 II	3・4後		1								兼1	
中国語上級 I	3・4前		1								兼1	
中国語上級 II	3・4後		1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 I	3・4前		1								兼1	
朝鮮・韓国語上級 II	3・4後		1								兼1	
小計(63科目)		-	0	99	0	0	0	0	0	0	0	兼71
情報処理科	情報リテラシー I	1前		1								兼2
	情報リテラシー II	1後		1								兼3
	画像処理基礎演習	1・2前		1								兼1
	Web制作	1・2前・後		1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1・2前		1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1・2前・後		1								兼2
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後		1								兼2
コンピュータ・グラフィックス	3・4前		1								兼1	

	ビジネス実務法務検定演習	3・4前・後	1																兼1	
	色彩検定演習	3・4前・後	1																兼2	
	ボランティア実践B	3・4前・後	2																兼1	
	小計(41科目)		-	3	52	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼34	
体育実技科目	体育実技A	1・2前・後	1																兼1	
	体育実技B	1・2前・後	1																兼1	
	体育実技C	1・2前・後	1																兼1	
	体育実技D	1・2前・後	1																兼1	
	体育実技E(水泳)未開講	1・2前	1																兼1	
	体育実技F(水泳)	1・2前	1																兼1	
	体育実技G	1・2前	1																兼1	
	体育実技H	1・2前・後	1																兼1	
	小計(8科目)		-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
総合科目	総合科目(地域文化)	3・4前	2																兼2	
	総合科目(地域社会)	3・4後	2																兼2	
	総合科目(日本とアジア)	3・4前	2																兼2	
	総合科目(国際政治)	3・4前	2																兼2	
	総合科目(国際経済)	3・4前	2																兼2	
	総合科目(現代社会)	3・4前	2																兼2	
	総合科目(観光)	3・4後	2																兼2	
	総合科目(芸術と社会)	3・4後	2																兼2	
	総合科目(人間と自然)	3・4前	2																兼2	
	総合科目(生活と環境)	3・4後	2																兼2	
	総合科目(キャリア)	3・4前	2																兼2	
小計(11科目)		-	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼21		
総論	心理学概論	1前	2					1												
	臨床心理学概論	1後	2					1												
	心理学研究法	1・2前	2						1										兼1	
	知覚・認知心理学	1・2前	2							1									兼1	
	学習・言語心理学	1・2前	2							1									兼1	
	発達心理学	1・2後	2																兼1	
	社会・集団・家族心理学	1・2後	2																兼1	
	心理学史	1・2後	2			1														
	教育・学校心理学	1・2前	2							1										
	健康教育概論	1・2後	2			1														
	人体の構造と機能及び疾病	1・2後	2			1														
小計(11科目)		-	4	18	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
入門実	心理学統計法	2前	2				1													
	小計(1科目)		-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
臨床心理学科専門科目	各論	神経・生理心理学	3・4前	2				1												
		視覚と芸術の心理学	3・4後	2																兼1
		感情・人格心理学	3・4前	2					1											兼1
		言語心理学	3・4前	2																兼1
		思考心理学	3・4前	2																兼1
		道徳心理学	3・4後	2			1													
		青年期の発達心理学	3・4前	2			1													
		高齢者の心理学	3・4後	2					1											
		心理学的支援法	3・4前	2						1										
		力動論的アプローチ	3・4後	2																兼1
		認知行動療法	3・4後	2																兼1
		家族療法論	3・4後	2																兼1
		心理教育的アセスメント	3・4後	2			1													
		健康心理アセスメント	3・4前	2																兼1
		データ解析	3・4前・後	2																兼1
		実験計画法	3・4前・後	2																兼1
		公認心理師の職責	3・4後	2			1													兼1
		関係行政論	3・4前	2																兼1
		臨床教育学	3・4前	2																兼1
		学校臨床心理学	3・4後	2			1													
		発達障害の心理と指導援助	3・4後	2																兼1
		キャリアカウンセリング	3・4後	2								1								
		健康・医療心理学	3・4前	2								1								
		健康心理カウンセリング	3・4後	2						1										
		福祉心理学	3・4後	2																兼1
		障害者(児)心理学	3・4前	2																兼1
産業・組織心理学	3・4前	2																兼1		
産業カウンセリング	3・4前	2			1															

	司法・犯罪心理学	3・4後	2								兼1
	精神疾患とその治療	3・4前	2		1						
	心身医学	3・4後	2								兼1
	子どものこととからだ	3・4前	2								兼1
	小計(32科目)	-	0	64	0	5	2	1	0	0	兼15
特殊演習	心理演習	3前	2		1		1				
	遊戯・芸術療法	3・4後	1		1						
	心理的アセスメント	3・4前	1			1					
	小計(3科目)	-	0	4	0	2	1	1	0	0	兼0
実習	心理学実験	2前・後	2		1						
	健康心理アセスメント実習	3・4前	2				1				
	心理実習A	3・4前	1		1	1					
	心理実習B	3後	1		1		1				
	心理実習C	3前	1		1		1				
小計(5科目)	-	2	5	0	3	1	2	0	0	兼0	
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1		6	2	2				
	臨床心理学演習 I B	3後	1		6	2	2				
	臨床心理学演習 II A	4前	1		6	2	2				
	臨床心理学演習 II B	4後	1		6	2	2				
小計(4科目)	-	4	0	0	6	2	2	0	0	兼0	
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2		6	2	2				
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0	兼0
合計(282科目)		-	21	458	0	6	2	2	0	0	兼211

卒業要件及び履修方法

授業科目を前期課程科目（1・2年次）と後期課程科目（3・4年次）に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。

卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。

前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位（全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位）とする。

（履修科目の登録上限：半期22単位）

全学共通科目

<前期課程>

外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。

<後期課程>

教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。

心理学部臨床心理学科専門科目

<前期課程>

総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。

<後期課程>

各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。

- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語A1b」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「英語A2b」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・兼任講師就任辞退の理由により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「マルチメディア基礎演習（音楽制作）」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員病欠の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更、平成31年度に開講予定。
- ・履修機会を増やす理由により、「異文化理解」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「TOEIC特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技B」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技C」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技D」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技H」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。

【令和元年度】

- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅡa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣb」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師1」から「教授2」、「准教授3」に変更。
- ・専任教員役職就任の理由により、「プロゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授4」、「講師1」から「教授3」、「准教授1」、「講師1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「アジア現代史」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「ボランティア論」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「経済学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「教育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「保育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「統計学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「情報科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「健康科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・兼任教員退職の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・時間割編成都合の理由により、「ディベート演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「プレゼンテーション演習」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・履修者数を鑑みた理由により、「キャリア基礎演習（グループワーク）」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「体育実技E（水泳）」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「神経・生理心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「高齢者の心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員後任就任の理由により、「学校臨床心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「健康心理カウンセリング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理的アセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員役職就任の理由により、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理実習B」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅠA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅠB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅡA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習ⅡB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
15 科目	267 科目	0 科目	282 科目	15 科目	267 科目	0 科目	282 科目	
[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼5
	英語A II a	1後	2								兼4
	英語A II b	1後	2								兼3
	英語A III a	2前	2								兼5
	英語A III b	2前	2								兼4
	英語A IV a	2後	2								兼5
	英語A IV b	2後	2								兼4
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼4
	英語 II	1後	2								兼2
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼5
	フランス語 IV	2後	2								兼5
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼5
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼3
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアアレッスン	1・2前・後	1								兼1
	英語再入門A	1・2前・後	1								兼2
	英語再入門B	1・2前・後	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
小計(45科目)	-	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼60
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1								兼2
	情報リテラシー II	1後	1								兼3
	画像処理基礎演習	1・2前	1								兼1
	Web制作	1・2前・後	1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1・2前	1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1・2後	1								兼1
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後	1								兼2
小計(7科目)	-	2	5	0	0	0	0	0	0	0	兼7
導入科目	プロゼミ I	1前	1			2	2	1			
	プロゼミ II	1後	1			4		1			
小計(2科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0	0	兼0
	文芸理論	1・2前・後	2								兼3
	歴史理論	1・2前・後	2								兼3
	言語科学	1・2前・後	2								兼1
	記号論	1・2後	2								兼1
	日本現代史	1・2後	2								兼1
	アジア現代史	1・2前	2								兼1
	ヨーロッパ現代史	1・2前・後	2								兼2
	日本文学	1・2前・後	2								兼2
	中国文学	1・2後	2								兼1
	英文学	1・2前	2								兼1
	ドイツ文学	1・2前・後	2								兼1
	フランス文学	1・2前・後	2								兼1

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
外国語科目	英語A I a	1前	2								兼4
	英語A I b	1前	2								兼5
	英語A II a	1後	2								兼4
	英語A II b	1後	2								兼3
	英語A III a	2前	2								兼5
	英語A III b	2前	2								兼4
	英語A IV a	2後	2								兼5
	英語A IV b	2後	2								兼4
	英語B I a	1前	2								兼1
	英語B I b	1前	2								兼1
	英語B II a	1後	2								兼1
	英語B II b	1後	2								兼1
	英語B III a	2前	2								兼2
	英語B III b	2前	2								兼2
	英語B IV a	2後	2								兼2
	英語B IV b	2後	2								兼2
	英語 I	1前	2								兼4
	英語 II	1後	2								兼2
	英語 III	2前	2								兼4
	英語 IV	2後	2								兼5
	フランス語 I	1前	2								兼2
	フランス語 II	1後	2								兼2
	フランス語 III	2前	2								兼4
	フランス語 IV	2後	2								兼4
	ドイツ語 I	1前	2								兼2
	ドイツ語 II	1後	2								兼2
	ドイツ語 III	2前	2								兼5
	ドイツ語 IV	2後	2								兼5
	中国語 I	1前	2								兼2
	中国語 II	1後	2								兼2
	中国語 III	2前	2								兼5
	中国語 IV	2後	2								兼5
	朝鮮・韓国語 I	1前	2								兼2
	朝鮮・韓国語 II	1後	2								兼3
	朝鮮・韓国語 III	2前	2								兼3
	朝鮮・韓国語 IV	2後	2								兼3
	英語マルチメディアアレッスン	1・2前・後	1								兼1
	英語再入門A	1・2前・後	1								兼2
	英語再入門B	1・2前・後	1								兼2
	英語リーディング	2前	1								兼1
	英語ライティング	2後	1								兼1
	フランス語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	ドイツ語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	中国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
	朝鮮・韓国語リーディング・ライティング	2後	1								兼1
小計(45科目)	-	0	81	0	0	0	0	0	0	0	兼68
情報処理科目	情報リテラシー I	1前	1								兼2
	情報リテラシー II	1後	1								兼3
	画像処理基礎演習	1・2前	1								兼1
	Web制作	1・2前・後	1								兼2
	マルチメディア基礎演習(映像制作)	1・2前	1								兼1
	マルチメディア基礎演習(音楽制作)	1・2後	1								兼2
	Microsoft Office Specialist 基礎演習	1・2前・後	1								兼2
小計(7科目)	-	2	5	0	0	0	0	0	0	0	兼8
導入科目	プロゼミ I	1前	1			2	3				
	プロゼミ II	1後	1			3	1	1			
小計(2科目)	-	2	0	0	5	3	1	0	0	0	兼0
	文芸理論	1・2前・後	2								兼3
	歴史理論	1・2前・後	2								兼3
	言語科学	1・2前・後	2								兼1
	記号論	1・2後	2								兼1
	日本現代史	1・2後	2								兼1
	アジア現代史	1・2前	2								兼1
	ヨーロッパ現代史	1・2前・後	2								兼2
	日本文学	1・2前・後	2								兼2
	中国文学	1・2後	2								兼1
	英文学	1・2前	2								兼1
	ドイツ文学	1・2前・後	2								兼1
	フランス文学	1・2前・後	2								兼1

体育実技科目	体育実技C	1・2前	1																兼1		
	体育実技D	1・2後	1																兼1		
	体育実技E(水泳)	1・2前	1																兼1		
	体育実技F(水泳)	1・2前	1																兼1		
	体育実技G	1・2前	1																兼1		
	体育実技H	1・2後	1																兼1		
	小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼3	
	臨床心理学科専門科目	総論	心理学概論	1前	2				1												
臨床心理学概論			1後	2				1													
心理学研究法			1・2前	2					1												兼1
知覚・認知心理学			1・2前	2																	
学習・言語心理学			1・2前	2					1												兼1
発達心理学			1・2後	2																	兼1
社会・集団・家族心理学			1・2後	2																	兼1
心理学史			1・2後	2			1														
教育・学校心理学			1・2前	2						1											
健康教育概論			1・2後	2			1														
人体の構造と機能及び疾病			1・2後	2			1														
小計(11科目)	-	4	18	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
入門実習	心理学統計法	2前	2				1														
	小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
実習	心理学実験	2前・後	2				1														
	小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
合計(153科目)		-	15	251	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼133	
卒業要件及び履修方法																					
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。</p> <p>卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。</p> <p>前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。</p> <p>(履修科目の登録上限: 半期22単位)</p> <p>全学共通科目</p> <p><前期課程></p> <p>外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目</p> <p><前期課程></p> <p>総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																					

体育実技科目	体育実技C	1・2前	1																	兼1	
	体育実技D	1・2後	1																	兼1	
	体育実技E(水泳)	1・2前	1																	兼2	
	体育実技F(水泳)	1・2前	1																	兼1	
	体育実技G	1・2前	1																	兼1	
	体育実技H	1・2後	1																	兼1	
	小計(8科目)	-	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼3
	臨床心理学科専門科目	総論	心理学概論	1前	2				1												
臨床心理学概論			1後	2				1													
心理学研究法			1・2前	2					1												兼1
知覚・認知心理学			1・2前	2																	
学習・言語心理学			1・2前	2					1												兼1
発達心理学			1・2後	2																	兼1
社会・集団・家族心理学			1・2後	2																	兼1
心理学史			1・2後	2			1														
教育・学校心理学			1・2前	2						1											
健康教育概論			1・2後	2			1														
人体の構造と機能及び疾病			1・2後	2			1														
小計(11科目)	-	4	18	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼2		
入門実習	心理学統計法	2前	2				1														
	小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼0	
実習	心理学実験	2前・後	2				1													兼1	
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼1	
合計(153科目)		-	15	251	0	6	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼145	
卒業要件及び履修方法																					
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。</p> <p>卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。</p> <p>前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。</p> <p>(履修科目の登録上限: 半期22単位)</p> <p>全学共通科目</p> <p><前期課程></p> <p>外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目</p> <p><前期課程></p> <p>総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。</p> <p><後期課程></p> <p>各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>																					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
外国	英語A I a	1前	2									兼4	
	英語A I b	1前	2									兼5	
	英語A II a	1後	2									兼3	
	英語A II b	1後	2									兼3	
	英語A III a	2前	2									兼3	
	英語A III b	2前	2									兼3	
	英語A IV a	2後	2									兼3	
	英語A IV b	2後	2									兼1	
	英語B I a	1前	2									兼1	
	英語B I b	1前	2									兼1	
	英語B II a	1後	2									兼1	
	英語B II b	1後	2									兼1	
	英語B III a	2前	2									兼2	
	英語B III b	2前	2									兼2	
	英語B IV a	2後	2									兼2	
	英語B IV b	2後	2									兼2	
	英語 I	1前	2										兼4
	英語 II	1後	2										兼2
	英語 III	2前	2										兼4
	英語 IV	2後	2										兼5
	フランス語 I	1前	2										兼2
	フランス語 II	1後	2										兼2
	フランス語 III	2前	2										兼5

習	小計(1科目)	-	2	0	0	1	0	0	0	0	0	兼0
	合計(153科目)	-	15	251	0	6	2	2	0	0	0	兼141
卒業要件及び履修方法												
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限：半期22単位)</p> <p>全学共通科目 <前期課程> 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 <後期課程> 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 <前期課程> 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 <後期課程> 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後に「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・ 習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅠb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・ 習熟度別クラス新設の理由により、「英語AⅡb」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・ 兼任講師就任辞退の理由により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「マルチメディア基礎演習(音楽制作)」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 専任教員病欠の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。平成31年度に開講予定。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「異文化理解」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更、また、専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 他学部教育課程編成上の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「TOEIC特別演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「体育実技B」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「体育実技C」の配当年次を「1・2前」から「1・2前・後」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「体育実技D」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「体育実技H」の配当年次を「1・2後」から「1・2前・後」に変更。

【令和元年度】

- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅡa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅢb」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼4」に変更。
- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣa」の専任教員等の配置を「兼3」から「兼5」に変更。
- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語AⅣb」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。
- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼5」に変更。
- ・ 履修者増に伴う担当者追加の理由により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼3」に変更。
- ・ 教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・ 教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅳ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼4」に変更。
- ・ 教育課程編成上の理由により、「中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼5」から「兼6」に変更。
- ・ 専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「プロゼミⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」、「准教授2」、「講師1」から「教授2」、「准教授3」に変更。
- ・ 専任教員役職就任の理由により、「プロゼミⅡ」の専任教員等の配置を「教授4」、「講師1」から「教授3」、「准教授1」、「講師1」に変更。
- ・ 時間割編成都合の理由により、「アジア現代史」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「ボランティア論」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「経済学」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「教育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「保育学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・ 時間割編成都合の理由により、「統計学」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「情報科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2後」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「健康科学」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・ 兼任教員退職の理由により、「教育原理」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。
- ・ 時間割編成都合の理由により、「ディベート演習」の配当年次を「1・2前」から「1・2後」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「プレゼンテーション演習」の配当年次を「1・2前・後」から「1・2前」に変更。
- ・ 履修者数を鑑みた理由により、「キャリア基礎演習(グループワーク)」の配当年次を「2前・後」から「2前」に変更。
- ・ 履修機会を増やす理由により、「体育実技E(水泳)」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。
- ・ 専任教員昇格の理由により、「臨床心理学概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 専任教員昇格の理由により、「心理学研究法」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専任教員昇格の理由により、「教育・学校心理学」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 専任教員役職就任の理由により、「心理学実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
10 科目	143 科目	0 科目	153 科目	10 科目	143 科目	0 科目	153 科目	
				[]	[]	[]	[]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(1) -① 授業科目表

文京キャンパス

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
外国語科目	テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後	2									兼1
	フランス語上級 I	3・4前	2									兼1
	フランス語上級 II	3・4後	2									兼1
	ドイツ語上級 I	3・4前	2									兼1
	ドイツ語上級 II	3・4後	2									兼1
	中国語上級 I	3・4前	2									兼1
	中国語上級 II	3・4後	2									兼1
	朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	2									兼1
	朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	2									兼1
小計(18科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	兼12
情報処理科目	コンピュータ・グラフィックス	3・4前	2									兼1
	デジタル・アニメーション	3・4後	2									兼1
	デジタル編集	3・4前	2									兼1
	アプリケーション・プログラミング	3・4後	2									兼1
	Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後	2									兼1
小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	兼4
教養科目	日本宗教論	3・4後	2									兼1
	聖書学	3・4前・後	2									兼1
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後	2									兼1
	ミステリー文学	3・4前・後	2									兼1
	児童文学	3・4前・後	2									兼1
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前	2									兼1
	ラテン語とローマ文化	3・4後	2									兼1
	イタリア語とイタリア文化	3・4前	2									兼1
	スペイン語とスペイン文化	3・4前	2									兼1
	ロシア語とロシア文化	3・4前	2									兼1
	ファッション論	3・4前・後	2									兼2
	ジェンダー論	3・4前・後	2									兼1
	刑事法	3・4前	2									兼1
	民事法	3・4前	2									兼1
	労働法	3・4前	2									兼1
	国際法	3・4後	2									兼1
	国際社会論	3・4前	2									兼1
	国際経済	3・4前・後	2									兼1
	深層心理学	3・4前・後	2									兼1
	精神病理学	3・4前・後	2									兼1
	天文学	3・4前	2									兼1
	建築環境論	3・4前・後	2									兼2
	水産学	3・4前・後	2									兼1
	河川海洋学	3・4前	2									兼1
	農林科学	3・4後	2									兼1
	公衆衛生論	3・4後	2									兼1
	ネットワーク論	3・4前	2									兼1
小計(27科目)	-	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	兼27
全学共通科目	家族心理学	3・4前	2			1						兼1
	マーケティング心理学	3・4後	2									兼1
	教育学概論	3・4前・後	2									兼1
	近代家族論	3・4前・後	2									兼1
	男性学	3・4後	2									兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助		
外国語科目	テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前	2									兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後	2									兼1
	フランス語上級 I	3・4前	2									兼1
	フランス語上級 II	3・4後	2									兼1
	ドイツ語上級 I	3・4前	2									兼1
	ドイツ語上級 II	3・4後	2									兼1
	中国語上級 I	3・4前	2									兼1
	中国語上級 II	3・4後	2									兼1
	朝鮮・韓国語上級 I	3・4前	2									兼1
	朝鮮・韓国語上級 II	3・4後	2									兼1
小計(18科目)	-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	兼12
情報処理科目	コンピュータ・グラフィックス	3・4前	2									兼1
	デジタル・アニメーション	3・4後	2									兼1
	デジタル編集	3・4前	2									兼1
	アプリケーション・プログラミング	3・4後	2									兼1
	Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後	2									兼1
小計(5科目)	-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	兼4
教養科目	日本宗教論	3・4後	2									兼1
	聖書学	3・4前・後	2									兼1
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後	2									兼1
	ミステリー文学	3・4前・後	2									兼1
	児童文学	3・4前・後	2									兼1
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前	2									兼1
	ラテン語とローマ文化	3・4後	2									兼1
	イタリア語とイタリア文化	3・4前	2									兼1
	スペイン語とスペイン文化	3・4前	2									兼1
	ロシア語とロシア文化	3・4前	2									兼1
	ファッション論	3・4前・後	2									兼2
	ジェンダー論	3・4前・後	2									兼1
	刑事法	3・4前	2									兼1
	民事法	3・4前	2									兼1
	労働法	3・4前	2									兼1
	国際法	3・4後	2									兼1
	国際社会論	3・4前	2									兼1
	国際経済	3・4前・後	2									兼1
	深層心理学	3・4前・後	2									兼1
	精神病理学	3・4前・後	2									兼1
	天文学	3・4前	2									兼1
	建築環境論	3・4前・後	2									兼2
	水産学	3・4前・後	2									兼1
	河川海洋学	3・4前	2									兼1
	農林科学	3・4後	2									兼1
	公衆衛生論	3・4後	2									兼1
	ネットワーク論	3・4前	2									兼1
小計(27科目)	-	0	54	0	0	0	0	0	0	0	0	兼27
全学共通科目	家族心理学	3・4前	2				1					兼1
	マーケティング心理学	3・4後	2									兼1
	教育学概論	3・4前・後	2									兼1
	近代家族論	3・4前・後	2									兼1
	男性学	3・4後	2									兼1

小計(3科目)		-	0	4	0	2	1	1	0	0	兼0
実習	健康心理アセスメント実習	3・4前		2				1			
	心理実習A	3・4前		1		1	1				
	心理実習B	3後		1		1		1			
	心理実習C	3前		1		1		1			
	小計(4科目)	-	0	5	0	3	1	2	0	0	兼0
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1			6	2	2			
	臨床心理学演習 I B	3後	1			6	2	2			
	臨床心理学演習 II A	4前	1			6	2	2			
	臨床心理学演習 II B	4後	1			6	2	2			
	小計(4科目)	-	4	0	0	6	2	2	0	0	兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	2	2			
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	2	2	0	0	兼0
合計(129科目)		-	6	207	0	6	2	2	0	0	兼94
卒業要件及び履修方法											
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限: 半期22単位)</p> <p>全学共通科目 <前期課程> 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 <後期課程> 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 <前期課程> 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 <後期課程> 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>											

小計(3科目)		-	0	4	0	2	2	0	0	0	兼0
実習	健康心理アセスメント実習	3・4前		2				1			
	心理実習A	3・4前		1		1	1				
	心理実習B	3後		1			2				
	心理実習C	3前		1		1		1			
	小計(4科目)	-	0	5	0	2	3	1	0	0	兼0
演習	臨床心理学演習 I A	3前	1			6	3	1			
	臨床心理学演習 I B	3後	1			6	3	1			
	臨床心理学演習 II A	4前	1			6	3	1			
	臨床心理学演習 II B	4後	1			6	3	1			
	小計(4科目)	-	4	0	0	6	3	1	0	0	兼0
卒業論文・卒業研究	卒業論文・卒業研究	4通	2			6	3	1			
	小計(1科目)	-	2	0	0	6	3	1	0	0	兼0
合計(129科目)		-	6	207	0	6	3	1	0	0	兼94
卒業要件及び履修方法											
<p>授業科目を前期課程科目(1・2年次)と後期課程科目(3・4年次)に分けて、それぞれにおいて全学共通科目と学部専門科目を開設する。 卒業に要する単位数は、全学共通科目と心理学部臨床心理学科専門科目をあわせて124単位以上修得する。 前期課程から後期課程への進級に要する修得単位数は、62単位(全学共通科目42単位及び学部専門科目20単位)とする。 (履修科目の登録上限: 半期22単位)</p> <p>全学共通科目 <前期課程> 外国語科目16単位以上、情報処理科目2単位以上、導入科目2単位、教養科目10単位以上、社会人形成科目3単位以上を含む42単位以上を修得する。 <後期課程> 教養科目4単位以上、社会人形成科目1単位以上を含む16単位以上を修得する。</p> <p>心理学部臨床心理学科専門科目 <前期課程> 総論12単位以上、研究入門2単位、実習2単位を含む20単位以上を修得する。 <後期課程> 各論24単位以上、特殊演習及び実習から2単位以上、演習4単位、卒業論文・卒業研究2単位を含む46単位以上を修得する。</p>											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	テーマで学ぶ英語(文化) I	3・4前		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(文化) II	3・4後		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス) I	3・4前		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	3・4後		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(観光) I	3・4前		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(観光) II	3・4後		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題) I	3・4前		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(社会問題) II	3・4後		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア) I	3・4前		2								兼1
	テーマで学ぶ英語(メディア) II	3・4後		2								兼1
	フランス語上級 I	3・4前		2								兼1
	フランス語上級 II	3・4後		2								兼1
	ドイツ語上級 I	3・4前		2								兼1
	ドイツ語上級 II	3・4後		2								兼1
	中国語上級 I	3・4前		2								兼1
中国語上級 II	3・4後		2								兼1	
朝鮮・韓国語上級 I	3・4前		2								兼1	
朝鮮・韓国語上級 II	3・4後		2								兼1	
小計(18科目)		-	0	18	0	0	0	0	0	0	0	兼12
情報処理科目	コンピュータ・グラフィックス	3・4前		2								兼1
	デジタル・アニメーション	3・4後		2								兼1
	デジタル編集	3・4前		2								兼1
	アプリケーション・プログラミング	3・4後		2								兼1
	Microsoft Office Specialist 演習	3・4前・後		2								兼1
小計(5科目)		-	0	5	0	0	0	0	0	0	0	兼4
日本宗教学論	日本宗教学論	3・4後		2								兼1
	聖書学	3・4前・後		2								兼1
	ヨーロッパ中世文学	3・4前・後		2								兼1
	ミステリー文学	3・4前・後		2								兼1
	児童文学	3・4前・後		2								兼1
	ギリシア語とギリシア文化	3・4前		2								兼1
	ラテン語とローマ文化	3・4後		2								兼1

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

特になし。

【令和元年度】

- ・専任教員昇格の理由により、「神経・生理心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「高齢者の心理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員後任就任の理由により、「学校臨床心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「健康心理カウンセリング」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理演習」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格の理由により、「心理的アセスメント」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「心理実習B」の専任教員等の配置を「教授1」、「講師1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習IA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習IB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習IIA」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「臨床心理学演習IIB」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。
- ・専任教員昇格及び専任教員後任就任の理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授6」、「准教授2」、「講師2」から「教授6」、「准教授3」、「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	124 科目	0 科目	129 科目	5 科目 []	124 科目 []	0 科目 []	129 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{282} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	14,204.85㎡	0㎡	0㎡	14,204.85㎡				
	運動場用地	48,783.25㎡	0㎡	0㎡	48,783.25㎡				
	小 計	62,988.10㎡	0㎡	0㎡	62,988.10㎡				
	そ の 他	3,385.45㎡	0㎡	0㎡	3,385.45㎡				
	合 計	66,373.55㎡	0㎡	0㎡	66,373.55㎡				
(2) 校 舎		専 用 52,068.94㎡ (52,068.94 ㎡)	共 用 0㎡ (㎡)	共用する他の学校等の専用 0㎡ (㎡)	計 52,068.94㎡ (52,068.94 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	89 室	演 習 室 34 室	実験実習室 15 室	情報処理学習施設 14 室 4 (補助職員 8人)	語学学習施設 0 室 補助職員 0 人	大学全体 専任職員4名と業務委託5名で対応(元) 専任職員4名と業務委託6名で対応(30)		
	(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称 心理学部			室 数 10 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌(電子ジャーナル含む)は、学部単位での特定不能なため、大学全体の数。視聴覚資料、機械・器具については心理学部に係る数。 図書2,932冊〔うち外国書92冊〕を補充(30) 学術雑誌の減少は学術紀要電子化公開による冊子体廃棄のため。電子ジャーナルの減少は契約タイトル見直しのため(30) 視聴覚資料4点を補充(30) 図書3,182冊〔うち外国書57冊〕を補充(元) 学術雑誌の減少は学術紀要電子化公開による冊子体廃棄のため(元) 電子ジャーナル廃止はデータベース整備、電子書籍化推進により補う(元)	
	心理学部	518,606 [86,235] 515,424 [86,178] 512,492 [86,086] 518,606 [86,235] 515,424 [86,178] (512,492 [86,086])	5,122 [966] 5,620 [978] 7,123 [1,019] 5,122 [966] 5,620 [978] (7,123 [1,019])	0 [0] 81 [81] 83 [83] 0 [0] 81 [81] (83 [83])	209 205 209 (205)	170 (170)	0 (0)		
	計	518,606 [86,235] 515,424 [86,178] 512,492 [86,086] 518,606 [86,235] 515,424 [86,178] (512,492 [86,086])	5,122 [966] 5,620 [978] 7,123 [1,019] 5,122 [966] 5,620 [978] (7,123 [1,019])	0 [0] 81 [81] 83 [83] 0 [0] 81 [81] (83 [83])	209 205 209 (205)	170 (170)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積	関 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	6,747.46 ㎡	728		603,100		大学全体			
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要							
	3,934.20㎡	テ ニ ス コ ー ト 3 面							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	365千円 463千円	463千円	図書購入費	16,000千円	16,000千円	16,000千円	
	共同研究費等	3,527千円 13,750千円	13,750千円	設備購入費	2,000千円	2,527千円 3,000千円	4,000千円	採択性の研究助成費への申請件数が予定件数を下回ったことによる減額(30)	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,202千円	第2年次 1,022千円	第3年次 1,042千円	第4年次 1,062千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料収入、寄付金収入、受取利息・配当金収入から調達した財源をもって学校経営に要する費用に充当する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	跡見学園女子大学大学院									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
人文科学研究科	2	20	-	40	-	0.65	-	平成17	-	
日本文化専攻	2	8	-	16	修士 (人文学)	0.06	-	平成17	(人文科学研究科) 埼玉県新座市中野 一丁目9番6号	
臨床心理学専攻	2	12	-	24	修士 (臨床心理学)	1.04	-	平成17	(人文科学研究科) 埼玉県新座市中野 一丁目9番6号	
マネジメント研究科	2	10	-	20	-	0.15	-	平成18	-	
マネジメント専攻	2	10	-	20	修士 (マネジメント学)	0.15	-	平成18	(マネジメント研究科) 東京都文京区大塚 一丁目5番2号	
大学院全体	2	30	-	60	-	0.48	-	-	-	
大学の名称	跡見学園女子大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
文学部	4	390	-	1560	-	1.15	-	昭和40		
人文学科	4	160	-	640	学士 (人文学)	1.12	-	平成14		平成27年度入学定員減 (△20人)
現代文化表現学科	4	120	-	480	学士 (文化表現学)	1.16	-	平成22		平成27年度入学定員増 (30人)
コミュニケーション文化学科	4	110	-	440	学士 (コミュニケーション文化学)	1.15	-	平成18	(1・2年次) 埼玉県新座市中野 一丁目9番6号	平成27年度入学定員減 (△10人)
臨床心理学科	4	-	-	-	学士 (臨床心理学)	-	-	平成14		平成30年度より学生募集停止
マネジメント学部	4	260	-	1040	-	1.16	-	平成14		
マネジメント学科	4	180	-	720	学士 (マネジメント学)	1.20	-	平成14		平成27年度入学定員減 (△30人)
観光マネジメント学科	4	-	-	-	学士 (マネジメント学)	-	-	平成22		平成27年度より学生募集停止
生活環境マネジメント学科	4	80	-	320	学士 (マネジメント学)	1.07	-	平成18		平成27年度入学定員増 (20人)
観光コミュニティ学部	4	200	-	800	-	1.17	-	平成27	(3・4年次) 東京都文京区大塚 一丁目5番2号	
観光デザイン学科	4	120	-	480	学士 (観光学)	1.27	-	平成27		
コミュニティデザイン学科	4	80	-	320	学士 (社会学)	1.02	-	平成27		
心理学部	4	120	-	480	-	1.23	-	平成30		
臨床心理学科	4	120	-	480	学士 (臨床心理学)	1.23	-	平成30		
大学全体	4	970	-	3880	-	1.16	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<心理学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授 野島 一彦 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	プロゼミⅡ 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	野島 一彦 (70) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	野島 一彦 (71) <平成30年4月> 博士(教育心理学)	プロゼミⅡ 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授 阿部 洋子 (64) <平成30年4月> 文学士	プロゼミⅡ 家族心理学 心理学実験 道徳心理学 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	阿部 洋子 (64) <平成30年4月> 文学士	阿部 洋子 (65) <平成30年4月> 文学士	家族心理学 道徳心理学 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授 伊澤 成男 (63) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	プロゼミⅠ 学校臨床心理学 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	伊澤 成男 (63) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	伊澤 成男 (63) <平成30年4月> 修士(カウンセリング)	学校臨床心理学 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授 松壽 くみ子 (62) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)	プロゼミⅠ 心理学 心理学史 青年期の発達心理学 遊戯・芸術療法 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	松壽 くみ子 (62) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)	松壽 くみ子 (63) <平成30年4月> 医学博士(小児科学)	プロゼミⅠ 心理学 心理学史 青年期の発達心理学 遊戯・芸術療法 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授 宮岡 佳子 (59) <平成30年4月> 博士(医学)	プロゼミⅡ 健康教育概論 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	宮岡 佳子 (60) <平成30年4月> 博士(医学)	宮岡 佳子 (61) <平成30年4月> 博士(医学)	プロゼミⅡ 健康教育概論 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	教授 宮崎 圭子 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	プロゼミⅡ 対人関係のスキル 心理統計法 心理教育的アセスメント 公認心理師の職責 産後カウンセリング 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	宮崎 圭子 (59) <平成30年4月> 博士(文学)	宮崎 圭子 (60) <平成30年4月> 博士(文学)	プロゼミⅡ 対人関係のスキル 心理統計法 心理教育的アセスメント 公認心理師の職責 産後カウンセリング 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	准教授 酒井 佳永 (43) <平成30年4月> 博士(保健学)	プロゼミⅠ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 高齢者の心理学 健康心理カウンセリング 心理的アセスメント 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	酒井 佳永 (43) <平成30年4月> 博士(保健学)	酒井 佳永 (44) <平成30年4月> 博士(保健学)	プロゼミⅠ 臨床心理学概論 神経・生理心理学 高齢者の心理学 健康心理カウンセリング 心理的アセスメント 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				
専	准教授 板東 充彦 (44) <平成30年4月> 博士(心理学)	プロゼミⅠ ストレス・マネジメント 心理学概論 感情・人格心理学 心理学的支援法 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	板東 充彦 (44) <平成30年4月> 博士(心理学)	板東 充彦 (45) <平成30年4月> 博士(心理学)	プロゼミⅠ ストレス・マネジメント 心理学概論 感情・人格心理学 心理学的支援法 心理実習A 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究				

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
専	新井 雅 (36) <平成30年4月> 博士(教育学)	講師	新井 雅 (36) <平成30年4月> 博士(教育学)	講師	新井 雅 (37) <平成30年4月> 博士(教育学)	准教授	新井 雅 (37) <平成30年4月> 博士(教育学)	
	プロゼミⅠ 心理学研究法 教育・学校心理学 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究		プロゼミⅠ 心理学研究法 教育・学校心理学 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究		プロゼミⅠ 心理学研究法 教育・学校心理学 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究		プロゼミⅠ 心理学研究法 教育・学校心理学 心理実習B 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	
専	前場 康介 (36) <平成30年4月> 博士(人間科学)	講師	前場 康介 (36) <平成30年4月> 博士(人間科学)	講師	前場 康介 (37) <平成30年4月> 博士(人間科学)		前場 康介 (37) <平成30年4月> 博士(人間科学)	
	プロゼミⅡ 学習・言語心理学 キャリアカウンセリング 感情・人格心理学 健康・医療心理学 健康心理アセスメント実習 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究		プロゼミⅡ 学習・言語心理学 キャリアカウンセリング 感情・人格心理学 健康・医療心理学 健康心理アセスメント実習 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究		プロゼミⅡ 学習・言語心理学 キャリアカウンセリング 感情・人格心理学 健康・医療心理学 健康心理アセスメント実習 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究		プロゼミⅡ 学習・言語心理学 キャリアカウンセリング 感情・人格心理学 健康・医療心理学 健康心理アセスメント実習 心理実習C 臨床心理学演習ⅠA 臨床心理学演習ⅠB 臨床心理学演習ⅡA 臨床心理学演習ⅡB 卒業論文・卒業研究	
兼任	石田 信一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	教授	石田 信一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	教授	石田 信一 (54) <平成30年4月> 博士(文学)	教授	石田 信一 (54) <平成30年4月> 博士(文学)	
	ヨーロッパ現代史		ヨーロッパ現代史		ヨーロッパ現代史		ヨーロッパ現代史	
兼任	石塚 正敏 (65) <平成30年4月> 博士(医学)	教授	石塚 正敏 (65) <平成30年4月> 博士(医学)	教授	石塚 正敏 (66) <平成30年4月> 博士(医学)	教授	石塚 正敏 (66) <平成30年4月> 博士(医学)	
	生理学 公衆衛生論		生理学 公衆衛生論		生理学 公衆衛生論		生理学 公衆衛生論	
兼任	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※	教授	岩田 秀行 (69) <平成30年4月> 文学修士※	教授				
	百人一首		百人一首					
兼任	小川 忠 (61) <令和2年4月> 博士(学術)	教授	小川 忠 (59) <令和2年4月> 博士(学術)	教授	小川 忠 (60) <令和2年4月> 博士(学術)	教授	小川 忠 (60) <令和2年4月> 博士(学術)	
	テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅰ		テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅰ		テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅰ		テーマで学ぶ英語(社会問題)Ⅰ	
兼任	奥田 洋子 (69) <令和2年4月> 修士(文学)※	教授	奥田 洋子 (67) <令和2年4月> 修士(文学)※	教授	奥田 洋子 (68) <令和2年4月> 修士(文学)※	教授	奥田 洋子 (68) <令和2年4月> 修士(文学)※	
	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	
兼任	鍵屋 一 (63) <令和2年4月> 修士(政治学)	教授	鍵屋 一 (61) <令和2年4月> 修士(政治学)	教授	鍵屋 一 (62) <令和2年4月> 修士(政治学)	教授	鍵屋 一 (62) <令和2年4月> 修士(政治学)	
	ボランティア実践B		ボランティア実践B		ボランティア実践B		ボランティア実践B	
兼任	神山 伸弘 (60) <令和2年4月> 社会学修士※	教授	神山 伸弘 (58) <令和2年4月> 社会学修士※	教授	神山 伸弘 (59) <令和2年4月> 社会学修士※	教授	神山 伸弘 (59) <令和2年4月> 社会学修士※	
	総合科目(国際政治)		総合科目(国際政治)		総合科目(国際政治)		総合科目(国際政治)	
兼任	香山 はるの (54) <令和2年4月> 文学修士※	教授	香山 はるの (52) <令和2年4月> 文学修士※	教授	香山 はるの (53) <令和2年4月> 文学修士※	教授	香山 はるの (53) <令和2年4月> 文学修士※	
	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅰ		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅰ		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅰ		テーマで学ぶ英語(文化)Ⅰ	
兼任	小仲 信孝 (67) <令和2年4月> 文学修士※	教授	小仲 信孝 (65) <令和2年4月> 文学修士※	教授	小仲 信孝 (66) <令和2年4月> 文学修士※	教授	小仲 信孝 (66) <令和2年4月> 文学修士※	
	日本語演習		日本語演習		日本語演習		日本語演習	
兼任	佐藤 敦 (60) <平成30年4月> Master in Public Administration(米園)	教授	佐藤 敦 (60) <平成30年4月> Master in Public Administration(米園)	教授	佐藤 敦 (61) <平成30年4月> Master in Public Administration(米園)	教授	佐藤 敦 (61) <平成30年4月> Master in Public Administration(米園)	
	花嫁の教育とライフプラン・ キャリアアップ 職人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループ ワーク)		花嫁の教育とライフプラン・ キャリアアップ 職人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループ ワーク)		花嫁の教育とライフプラン・ キャリアアップ 職人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループ ワーク)		花嫁の教育とライフプラン・ キャリアアップ 職人のルールとモラル キャリア基礎演習(グループ ワーク)	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	塩月 亮子 (54) <令和2年4月> 博士(文学)	総合科目(地域文化) 総合科目(観光)	兼任	教授	塩月 亮子 (52) <令和2年4月> 博士(文学)	総合科目(地域文化) 総合科目(観光)	兼任	教授	塩月 亮子 (53) <令和2年4月> 博士(文学)	総合科目(地域文化) 総合科目(観光)				
兼任	教授	鈴木 芳明 (60) <平成30年4月> 文学士	教育原理	兼任	教授	鈴木 芳明 (60) <平成30年4月> 文学士	教育原理	兼任	教授	鈴木 芳明 (61) <平成30年4月> 文学士	教育原理				
兼任	教授	副島 普通 (63) <令和2年4月> 芸術学修士※	メディア環境論	兼任	教授	副島 普通 (61) <令和2年4月> 芸術学修士※	メディア環境論	兼任	教授	副島 普通 (62) <令和2年4月> 芸術学修士※	メディア環境論				
兼任	教授	曾田 修司 (62) <令和2年4月> 文学士	総合科目(現代社会)	兼任	教授	曾田 修司 (60) <令和2年4月> 文学士	総合科目(現代社会)	兼任	教授	曾田 修司 (61) <令和2年4月> 文学士	総合科目(現代社会)				
兼任	教授	高木 庸 (68) <令和2年4月> 芸術学修士	プロダクトデザイン論	兼任	教授	高木 庸 (66) <令和2年4月> 芸術学修士	プロダクトデザイン論	兼任	教授	高木 庸 (67) <令和2年4月> 芸術学修士	プロダクトデザイン論				
兼任	教授	崔 勝漢 (55) <令和2年4月> 博士(経営学)	総合科目(キャリア)	兼任	教授	崔 勝漢 (53) <令和2年4月> 博士(経営学)	総合科目(キャリア)	兼任	教授	崔 勝漢 (54) <令和2年4月> 博士(経営学)	総合科目(キャリア)				
兼任	教授	轟(吹野) 理恵子 (55) <平成30年4月> 博士(社会学)	社会調査法	兼任	教授	轟(吹野) 理恵子 (55) <平成30年4月> 博士(社会学)	社会調査法	兼任	教授	轟(吹野) 理恵子 (56) <平成30年4月> 博士(社会学)	社会調査法				
兼任	教授	富川 淳子 (66) <令和2年4月> 経営学修士	総合科目(現代社会)	兼任	教授	富川 淳子 (64) <令和2年4月> 経営学修士	総合科目(現代社会)	兼任	教授	富川 淳子 (65) <令和2年4月> 経営学修士	総合科目(現代社会)				
兼任	教授	細川 淳 (64) <令和2年4月> 博士(社会学)	総合科目(キャリア)	兼任	教授	細川 淳 (62) <令和2年4月> 博士(社会学)	総合科目(キャリア)	兼任	教授	細川 淳 (63) <令和2年4月> 博士(社会学)	総合科目(キャリア)				
兼任	教授	宮崎 正浩 (65) <令和2年4月> 博士(工学)	総合科目(人間と自然)	兼任	教授	宮崎 正浩 (63) <令和2年4月> 博士(工学)	総合科目(人間と自然)	兼任	教授	宮崎 正浩 (64) <令和2年4月> 博士(工学)	総合科目(人間と自然)				
兼任	教授	村田 あが (60) <令和2年4月> 博士(工学)	建築環境論 総合科目(芸術と社会)	兼任	教授	村田 あが (58) <令和2年4月> 博士(工学)	建築環境論 総合科目(芸術と社会)	兼任	教授	村田 あが (59) <令和2年4月> 博士(工学)	建築環境論 総合科目(芸術と社会)				
兼任	教授	山田 秀樹 (63) <令和2年4月> 経済学士	総合科目(国際経済)	兼任	教授	山田 秀樹 (61) <令和2年4月> 経済学士	総合科目(国際経済)	兼任	教授	山田 秀樹 (62) <令和2年4月> 経済学士	総合科目(国際経済)				
兼任	教授	吉澤 京子 (63) <令和2年4月> 修士(芸術学)	総合科目(芸術と社会)	兼任	教授	吉澤 京子 (61) <令和2年4月> 修士(芸術学)	総合科目(芸術と社会)	兼任	教授	吉澤 京子 (62) <令和2年4月> 修士(芸術学)	総合科目(芸術と社会)				
兼任	准教授	阿部 一哉 (46) <令和2年4月> 修士(言語学)	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語上級Ⅰ ドイツ語上級Ⅱ	兼任	准教授	阿部 一哉 (44) <令和2年4月> 修士(言語学)	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語上級Ⅰ ドイツ語上級Ⅱ	兼任	准教授	阿部 一哉 (45) <令和2年4月> 修士(言語学)	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ ドイツ語上級Ⅰ ドイツ語上級Ⅱ				
兼任	准教授	天海 弘 (61) <平成30年4月> 工学修士	化学	兼任	准教授	天海 弘 (61) <平成30年4月> 工学修士	化学	兼任	准教授	天海 弘 (62) <平成30年4月> 工学修士	化学				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (44) <令和2年4月> 修士(社会学)※	総合科目(地域社会)	兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (44) <令和2年4月> 修士(社会学)※	総合科目(地域社会)	兼任	准教授	石崎(石崎)裕子 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)※	総合科目(地域社会)					
兼任	准教授	カストラー・ブリス (44) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国)、 Master of Arts with Distinction(英国)	テーマで学ぶ英語(ビジネス) I テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	兼任	准教授	カストラー・ブリス (42) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国)、 Master of Arts with Distinction(英国)	テーマで学ぶ英語(ビジネス) I テーマで学ぶ英語(ビジネス) II	兼任	准教授	カストラー・ブリス (43) <令和2年4月> Master of Philosophy(英国)、 Master of Arts with Distinction(英国)	テーマで学ぶ英語(ビジネス) I テーマで学ぶ英語(ビジネス) II					
兼任	准教授	櫻川 幸恵 (48) <令和2年4月> 博士(経済学)	総合科目(国際経済)	兼任	准教授	櫻川 幸恵 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)	総合科目(国際経済)	兼任	准教授	櫻川 幸恵 (47) <令和2年4月> 博士(経済学)	総合科目(国際経済)					
兼任	准教授	篠崎 健司 (57) <令和2年4月> 経済学修士※	総合科目(地域社会)	兼任	准教授	篠崎 健司 (55) <令和2年4月> 経済学修士※	総合科目(地域社会)	兼任	准教授	篠崎 健司 (56) <令和2年4月> 経済学修士※	総合科目(地域社会)					
兼任	准教授	高橋 聖子 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	法学	兼任	准教授	高橋 聖子 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	法学	兼任	准教授	高橋 聖子 (45) <平成30年4月> 修士(法学)※	法学					
兼任	准教授	鶴田 雅昭 (65) <令和2年4月> 修士(経済学)※	総合科目(観光)	兼任	准教授	鶴田 雅昭 (63) <令和2年4月> 修士(経済学)※	総合科目(観光)	兼任	教授	鶴田 雅昭 (64) <令和2年4月> 修士(経済学)※	総合科目(観光)					
兼任	准教授	中村 聡 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語再入門A	兼任	准教授	中村 聡 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語再入門A	兼任	准教授	中村 聡 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	英語再入門A					
兼任	准教授	南里 隆宏 (47) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	ボランティア実践A	兼任	准教授	南里 隆宏 (47) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	ボランティア実践A	兼任	講師	南里 隆宏 (48) <平成30年4月> 博士(社会デザイン学)	ボランティア実践A					
兼任	准教授	西田 晴美 (57) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育 学)※	英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光)I テーマで学ぶ英語(観光)II	兼任	准教授	西田 晴美 (56) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育 学)※	英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光)I テーマで学ぶ英語(観光)II	兼任	准教授	西田 晴美 (57) <平成31年4月> 修士(文学)、修士(英語教育 学)※	英語AⅢb 英語リーディング テーマで学ぶ英語(観光)I テーマで学ぶ英語(観光)II					
兼任	准教授	深町 浩祥 (51) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、学士 (法学)	ファッション論 総合科目(生活と環境)	兼任	准教授	深町 浩祥 (49) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、学士 (法学)	ファッション論 総合科目(生活と環境)	兼任	准教授	深町 浩祥 (50) <令和2年4月> 経営学士、学士(工学)、学士 (法学)	ファッション論 総合科目(生活と環境)					
兼任	准教授	マク・ルン (55) <平成30年4月> Ph.D. in Art History(米国)	英語マルチメディアレッスン	兼任	准教授	マク・ルン (55) <平成30年4月> Ph.D. in Art History(米国)	英語マルチメディアレッスン	兼任	准教授	マク・ルン (56) <平成30年4月> Ph.D. in Art History(米国)	英語マルチメディアレッスン					
兼任	准教授	森 まり子 (50) <令和2年4月> 博士(学術)	総合科目(国際政治)	兼任	教授	森 まり子 (48) <令和2年4月> 博士(学術)	総合科目(国際政治)	兼任	教授	森 まり子 (49) <令和2年4月> 博士(学術)	総合科目(国際政治)					
兼任	准教授	安本 真弓 (49) <平成30年4月> 博士(人文科学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ	兼任	准教授	安本 真弓 (49) <平成30年4月> 博士(人文科学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ	兼任	准教授	安本 真弓 (50) <平成30年4月> 博士(人文科学)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 中国語Ⅳ 中国語上級Ⅰ 中国語上級Ⅱ 中国語リーディング・ライテ ィング					
兼任	准教授	山崎 妙 (46) <平成30年4月> Ph.D(英国)	英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習Ⅱ													

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	横井 由利 (67) <令和2年4月> 社会学士	ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)	兼任	准教授	横井 由利 (66) <令和2年4月> 社会学士	ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)	兼任	准教授	横井 由利 (67) <令和2年4月> 社会学士	ファッション論 マーケティングコミュニケーション 総合科目(生活と環境)				
兼任	准教授	横山 太郎 (47) <令和2年4月> 博士(学術)	日本語演習	兼任	教授	横山 太郎 (45) <令和2年4月> 博士(学術)	日本語演習								
兼任	准教授	吉田 信夫 (58) <令和2年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(メディア) I	兼任	准教授	吉田 信夫 (56) <令和2年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(メディア) I	兼任	准教授	吉田 信夫 (57) <令和2年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(メディア) I				
兼任	講師	赤松 瑞枝 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	家政学	兼任	講師	赤松 瑞枝 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	家政学	兼任	講師	赤松 瑞枝 (39) <平成30年4月> 博士(学術)	家政学				
兼任	講師	寺本 敬子 (38) <平成30年4月> 博士(社会学)	フランス語 I フランス語 II フランス語 III フランス語 IV フランス語上級 I フランス語上級 II	兼任	講師	寺本 敬子 (38) <平成31年4月> 博士(社会学)	フランス語 III フランス語 IV フランス語上級 I フランス語上級 II	兼任	講師	寺本 敬子 (39) <平成31年4月> 博士(社会学)	フランス語 III フランス語 IV フランス語上級 I フランス語上級 II				
				兼任	准教授	伊藤 雅 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	マルチメディア基礎演習(音楽 制作)	兼任	教授	伊藤 雅 (48) <平成30年4月> 博士(工学)	マルチメディア基礎演習(音楽 制作)				
				兼任	教授	杉本 昌裕 (63) <平成30年4月> 修士(美術)	教育原理								
				兼任	准教授	峰松 和子 (59) <平成30年4月> 修士(Linguistics:TESOL) (米国)、修士(コミュニケー ション研究:英語教育)※	英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習 II	兼任	准教授	峰松 和子 (60) <平成30年4月> 修士(Linguistics:TESOL) (米国)、修士(コミュニケー ション研究:英語教育)※	英語再入門B 英語ライティング 異文化理解 TOEIC特別演習 II				
								兼任	講師	加藤 甲多 (40) <平成31年4月> 博士(国文学)	百人一首				
兼任	講師	相島 淑美 (57) <令和2年4月> 文学修士/経営管理修士(専門 職)	テーマで学ぶ英語(社会問題) II	兼任	講師	相島 淑美 (55) <令和2年4月> 文学修士/経営管理修士(専門 職)	テーマで学ぶ英語(社会問題) II	兼任	講師	相島 淑美 (56) <令和2年4月> 文学修士/経営管理修士(専門 職)	テーマで学ぶ英語(社会問題) II				
兼任	講師	青山 豊 (44) <平成30年4月> 修士(法学)※	日本国憲法	兼任	講師	青山 豊 (45) <平成30年4月> 修士(法学)※	日本国憲法	兼任	講師	青山 豊 (46) <平成30年4月> 修士(法学)※	日本国憲法				
兼任	講師	阿部 陽子 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	英語 A III b 英語 A IV a	兼任	講師	阿部 陽子 (48) <平成31年4月> 修士(文学)※	英語 A III b 英語 A IV a	兼任	講師	阿部 陽子 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	英語 A III b 英語 A IV a				
兼任	講師	新井 保裕 (34) <平成30年4月> 博士(学術)	朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II												
兼任	講師	7th イニテ・クリスチャン (26) <平成30年4月> Bachelor of Science(比国)	英語 B I a 英語 B II a 英語 B III a 英語 B IV a	兼任	講師	7th イニテ・クリスチャン (26) <平成30年4月> Bachelor of Science(比国)	英語 B I a 英語 B II a 英語 B III a 英語 B IV a								
兼任	講師	飯田 順子 (44) <令和2年4月> 博士(心理学)	発達障害の心理と指導援助	兼任	講師	飯田 順子 (42) <令和2年4月> 博士(心理学)	発達障害の心理と指導援助	兼任	講師	飯田 順子 (43) <令和2年4月> 博士(心理学)	発達障害の心理と指導援助				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	飯高 晶子 (48) <平成30年4月> 修士(経済学) / 修士(教育学) ※	心理学 知覚・認知心理学 思考心理学	兼任	講師	飯高 晶子 (48) <平成30年4月> 修士(経済学) / 修士(教育学) ※	心理学 知覚・認知心理学 思考心理学	兼任	講師	飯高 晶子 (49) <平成30年4月> 修士(経済学) / 修士(教育学) ※	心理学 知覚・認知心理学 思考心理学	兼任	講師		
兼任	講師	池上 純一 (69) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	池上 純一 (69) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	池上 純一 (69) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師		
兼任	講師	池田 光義 (66) <平成30年4月> 社会学修士※	認識論	兼任	講師	池田 光義 (66) <平成30年4月> 社会学修士※	認識論	兼任	講師			兼任	講師		
兼任	講師	生駒 忍 (42) <令和2年4月> 修士(心理学)※	データ解析 実験計画法 障害者(児)心理学	兼任	講師	生駒 忍 (40) <令和2年4月> 修士(心理学)※	データ解析 実験計画法 障害者(児)心理学	兼任	講師	生駒 忍 (41) <令和2年4月> 修士(心理学)※	データ解析 実験計画法 障害者(児)心理学	兼任	講師		
兼任	講師	石井 正己 (60) <平成30年4月> 教育学修士	百人一首	兼任	講師	石井 正己 (60) <平成30年4月> 教育学修士	百人一首	兼任	講師	石井 正己 (61) <平成30年4月> 教育学修士	百人一首	兼任	講師		
兼任	講師	石黒 ひさ子 (50) <平成30年4月> 修士(史学)※	中国語Ⅰ	兼任	講師	石黒 ひさ子 (50) <平成30年4月> 修士(史学)※	中国語Ⅰ	兼任	講師	石黒 ひさ子 (51) <平成30年4月> 修士(史学)※	中国語Ⅰ	兼任	講師		
兼任	講師	泉谷 千尋 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	ヨーロッパ中世文学	兼任	講師	泉谷 千尋 (45) <令和2年4月> 博士(文学)	ヨーロッパ中世文学	兼任	講師	泉谷 千尋 (46) <令和2年4月> 博士(文学)	ヨーロッパ中世文学	兼任	講師		
兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (67) <令和2年4月> 文学修士	イタリア語とイタリア文化	兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (65) <令和2年4月> 文学修士	イタリア語とイタリア文化	兼任	講師	一ノ瀬 俊和 (66) <令和2年4月> 文学修士	イタリア語とイタリア文化	兼任	講師		
兼任	講師	市村 彰英 (62) <令和2年4月> 心理学士	司法・犯罪心理学	兼任	講師	市村 彰英 (60) <令和2年4月> 心理学士	司法・犯罪心理学	兼任	講師	市村 彰英 (61) <令和2年4月> 心理学士	司法・犯罪心理学	兼任	講師		
兼任	講師	伊藤 敬佑 (32) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	伊藤 敬佑 (32) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師	伊藤 敬佑 (33) <平成30年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ	兼任	講師		
兼任	講師	伊藤 健生 (48) <平成30年4月> 高等学校卒業	キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	兼任	講師	伊藤 健生 (48) <平成30年4月> 高等学校卒業	キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	兼任	講師	伊藤 健生 (49) <平成30年4月> 高等学校卒業	キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・数の処理)Ⅱ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅰ キャリア演習(公務員・数の処理)Ⅱ	兼任	講師		
兼任	講師	伊藤 直子 (64) <平成30年4月> 修士(文学)※	ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学	兼任	講師	伊藤 直子 (64) <平成30年4月> 修士(文学)※	ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学	兼任	講師	伊藤 直子 (65) <平成30年4月> 修士(文学)※	ドイツ語リーディング・ライティング ドイツ文学	兼任	講師		
兼任	講師	伊藤 尚伸 (60) <令和2年4月> 教育学士	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	兼任	講師	伊藤 尚伸 (58) <令和2年4月> 教育学士	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	兼任	講師	伊藤 尚伸 (59) <令和2年4月> 教育学士	テーマで学ぶ英語(メディア)Ⅱ	兼任	講師		
兼任	講師	伊藤 裕貴 (53) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)	マーケティング心理学	兼任	講師	伊藤 裕貴 (51) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)	マーケティング心理学	兼任	講師	伊藤 裕貴 (52) <令和2年4月> 修士(ジャーナリズム)	マーケティング心理学	兼任	講師		
兼任	講師	伊藤 由樹子 (56) <令和2年4月> 修士(経営学)	国際経済	兼任	講師	伊藤 由樹子 (54) <令和2年4月> 修士(経営学)	国際経済	兼任	講師	伊藤 由樹子 (55) <令和2年4月> 修士(経営学)	国際経済	兼任	講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	小川 清美 (66) <平成30年4月> 家政学修士	保育学	兼任	講師	小川 清美 (66) <平成30年4月> 家政学修士	保育学	兼任	講師	小川 清美 (66) <平成30年4月> 家政学修士	保育学	兼任	講師	小川 清美 (66) <平成30年4月> 家政学修士	保育学
兼任	講師	荻野 千尋 (47) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	荻野 千尋 (46) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	荻野 千尋 (47) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	荻野 千尋 (47) <平成31年4月> 地理学博士(韓国)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ
兼任	講師	小口 峰樹 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史	兼任	講師	小口 峰樹 (38) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史	兼任	講師	小口 峰樹 (39) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史	兼任	講師	小口 峰樹 (39) <平成30年4月> 博士(学術)	科学史
兼任	講師	小平 昌子 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa	兼任	講師	小平 昌子 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa	兼任	講師	小平 昌子 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa	兼任	講師	小平 昌子 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米国)	英語AⅡa
兼任	講師	小田部 英勝 (69) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習	兼任	講師	小田部 英勝 (67) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習	兼任	講師	小田部 英勝 (68) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習	兼任	講師	小田部 英勝 (68) <令和2年4月> 文学修士	イベント検定演習
兼任	講師	小坂井 彰 (66) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習	兼任	講師	小坂井 彰 (63) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習	兼任	講師	小坂井 彰 (64) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習	兼任	講師	小坂井 彰 (64) <令和3年4月> 経済学士	イベント検定演習
兼任	講師	越智 方美 (57) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論	兼任	講師	越智 方美 (57) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論	兼任	講師	越智 方美 (58) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論	兼任	講師	越智 方美 (58) <平成30年4月> 博士(社会科学)	ボランティア論
兼任	講師	海津 ヨシ川(宣則) (63) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習(映像制作) マルチメディア基礎演習(音楽制作)	兼任	講師	海津 ヨシ川(宣則) (63) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習(映像制作) マルチメディア基礎演習(音楽制作)	兼任	講師	海津 ヨシ川(宣則) (64) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習(映像制作) マルチメディア基礎演習(音楽制作)	兼任	講師	海津 ヨシ川(宣則) (64) <平成30年4月> 専修学校(専門課程)卒	マルチメディア基礎演習(映像制作) マルチメディア基礎演習(音楽制作)
兼任	講師	影山 なおみ (45) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	英語AⅠa	兼任	講師	影山 なおみ (45) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	英語AⅠa	兼任	講師	影山 なおみ (46) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	英語AⅠa	兼任	講師	影山 なおみ (46) <平成30年4月> 修士(文化科学)※	英語AⅠa
兼任	講師	笠島 美江子 (68) <平成30年4月> 文学修士※	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習	兼任	講師	笠島 美江子 (68) <平成30年4月> 文学修士※	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習	兼任	講師	笠島 美江子 (69) <平成30年4月> 文学修士※	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習	兼任	講師	笠島 美江子 (69) <平成30年4月> 文学修士※	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習
兼任	講師	飯田 勝啓 (61) <令和2年4月> 商学士	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習	兼任	講師	飯田 勝啓 (59) <令和2年4月> 商学士	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習	兼任	講師	飯田 勝啓 (60) <令和2年4月> 商学士	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習	兼任	講師	飯田 勝啓 (60) <令和2年4月> 商学士	ビジネス文章表現演習 プレゼンテーション演習
兼任	講師	柏原 麻美 (56) <平成30年4月> 文学士	秘書技能演習	兼任	講師	柏原 麻美 (56) <平成30年4月> 文学士	秘書技能演習	兼任	講師	柏原 麻美 (57) <平成30年4月> 文学士	秘書技能演習	兼任	講師	柏原 麻美 (57) <平成30年4月> 文学士	秘書技能演習
兼任	講師	和富 弥生 (62) <平成31年4月> 文学修士	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	兼任	講師	和富 弥生 (61) <平成31年4月> 文学修士	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	兼任	講師	和富 弥生 (62) <平成31年4月> 文学修士	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	兼任	講師	和富 弥生 (62) <平成31年4月> 文学修士	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	兼利 琢也 (61) <平成31年4月> 文学修士※	英語再入門A	兼任	講師	兼利 琢也 (60) <平成31年4月> 文学修士※	英語再入門A	兼任	講師	兼利 琢也 (61) <平成31年4月> 文学修士※	英語再入門A 英語AⅡa	兼任	講師	兼利 琢也 (61) <平成31年4月> 文学修士※	英語再入門A 英語AⅡa
兼任	講師	片岡 慎泰 (55) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	片岡 慎泰 (54) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	片岡 慎泰 (55) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	片岡 慎泰 (55) <平成31年4月> 文学修士	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	加藤 彰 (27) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	加藤 彰 (27) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	兼任	講師	加藤 彰 (27) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	加藤 彰 (27) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	兼任	講師	加藤 彰 (28) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	加藤 彰 (28) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	兼任	講師	加藤 彰 (23) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)	加藤 彰 (23) <平成30年4月> 公共政策学修士(専門職)
			ディベート演習				ディベート演習								
兼任	講師	加藤 百合 (55) <令和2年4月> 博士(学術)	加藤 百合 (53) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	兼任	講師	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)	加藤 百合 (54) <令和2年4月> 博士(学術)
			ロシア語とロシア文化				ロシア語とロシア文化								
兼任	講師	川端 正弘 (54) <平成30年4月> 理学博士	川端 正弘 (54) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	川端 正弘 (54) <平成30年4月> 理学博士	川端 正弘 (54) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	川端 正弘 (55) <平成30年4月> 理学博士	川端 正弘 (55) <平成30年4月> 理学博士	兼任	講師	川端 正弘 (55) <平成30年4月> 理学博士	川端 正弘 (55) <平成30年4月> 理学博士
			情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ				情報リテラシーⅠ 情報リテラシーⅡ								
兼任	講師	河原 哲雄 (57) <令和2年4月> 教育学修士※	河原 哲雄 (55) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	河原 哲雄 (55) <令和2年4月> 教育学修士※	河原 哲雄 (55) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	河原 哲雄 (56) <令和2年4月> 教育学修士※	河原 哲雄 (56) <令和2年4月> 教育学修士※	兼任	講師	河原 哲雄 (56) <令和2年4月> 教育学修士※	河原 哲雄 (56) <令和2年4月> 教育学修士※
			言語心理学				言語心理学								
兼任	講師	神田 浩一 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	神田 浩一 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 浩一 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	神田 浩一 (52) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 浩一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	神田 浩一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	神田 浩一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	神田 浩一 (53) <平成30年4月> 博士(文学)
			文芸理論 フランス文学				文芸理論 フランス文学								
兼任	講師	木下 ひろみ (59) <平成30年4月> 修士(文学)	木下 ひろみ (59) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下 ひろみ (59) <平成30年4月> 修士(文学)	木下 ひろみ (59) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下 ひろみ (60) <平成30年4月> 修士(文学)	木下 ひろみ (60) <平成30年4月> 修士(文学)	兼任	講師	木下 ひろみ (60) <平成30年4月> 修士(文学)	木下 ひろみ (60) <平成30年4月> 修士(文学)
			英語AⅠa				英語AⅠa								
兼任	講師	金 順任 (49) <平成30年4月> 博士(学術)	金 順任 (49) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	金 順任 (49) <平成30年4月> 博士(学術)	金 順任 (49) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	金 順任 (50) <平成30年4月> 博士(学術)	金 順任 (50) <平成30年4月> 博士(学術)	兼任	講師	金 順任 (50) <平成30年4月> 博士(学術)	金 順任 (50) <平成30年4月> 博士(学術)
			朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ				朝鮮・韓国語Ⅰ 朝鮮・韓国語Ⅱ 朝鮮・韓国語リーディング・ライティング 朝鮮・韓国語上級Ⅰ 朝鮮・韓国語上級Ⅱ								
兼任	講師	木村 敦夫 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	木村 敦夫 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	木村 敦夫 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	木村 敦夫 (62) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	木村 敦夫 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	木村 敦夫 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	兼任	講師	木村 敦夫 (63) <平成30年4月> 博士(文学)	木村 敦夫 (63) <平成30年4月> 博士(文学)
			ロシア文学				ロシア文学								
兼任	講師	喜山 朝彦 (65) <令和2年4月> 文学修士※	喜山 朝彦 (63) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	講師	喜山 朝彦 (63) <令和2年4月> 文学修士※	喜山 朝彦 (63) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	講師	喜山 朝彦 (64) <令和2年4月> 文学修士※	喜山 朝彦 (64) <令和2年4月> 文学修士※	兼任	講師	喜山 朝彦 (64) <令和2年4月> 文学修士※	喜山 朝彦 (64) <令和2年4月> 文学修士※
			ジェンダー論 男性学				ジェンダー論 男性学								
兼任	講師	國司 眞 (65) <令和2年4月> 理学士	國司 眞 (63) <令和2年4月> 理学士	兼任	講師	國司 眞 (63) <令和2年4月> 理学士	國司 眞 (63) <令和2年4月> 理学士	兼任	講師	國司 眞 (64) <令和2年4月> 理学士	國司 眞 (64) <令和2年4月> 理学士	兼任	講師	國司 眞 (64) <令和2年4月> 理学士	國司 眞 (64) <令和2年4月> 理学士
			天文学				天文学								
兼任	講師	熊本 史雄 (49) <令和2年4月> 博士(文学)	熊本 史雄 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	熊本 史雄 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	熊本 史雄 (47) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	熊本 史雄 (48) <令和2年4月> 博士(文学)	熊本 史雄 (48) <令和2年4月> 博士(文学)	兼任	講師	熊本 史雄 (48) <令和2年4月> 博士(文学)	熊本 史雄 (48) <令和2年4月> 博士(文学)
			総合科目(日本とアジア)				総合科目(日本とアジア)								
兼任	講師	倉橋 節也 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	倉橋 節也 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	倉橋 節也 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	倉橋 節也 (59) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	倉橋 節也 (60) <平成30年4月> 博士(工学)	倉橋 節也 (60) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	倉橋 節也 (60) <平成30年4月> 博士(工学)	倉橋 節也 (60) <平成30年4月> 博士(工学)
			情報リテラシーⅡ Microsoft Office Specialist基礎演習 Microsoft Office Specialist演習				情報リテラシーⅡ Microsoft Office Specialist基礎演習 Microsoft Office Specialist演習								
兼任	講師	栗山 保之 (49) <平成30年4月> 博士(史学)	栗山 保之 (49) <平成30年4月> 博士(史学)	兼任	講師	栗山 保之 (49) <平成30年4月> 博士(史学)	栗山 保之 (49) <平成30年4月> 博士(史学)	兼任	講師	栗山 保之 (50) <平成30年4月> 博士(史学)	栗山 保之 (50) <平成30年4月> 博士(史学)	兼任	講師	栗山 保之 (50) <平成30年4月> 博士(史学)	栗山 保之 (50) <平成30年4月> 博士(史学)
			歴史理論				歴史理論								
兼任	講師	黒田 涼 (42) <平成30年4月> 博士(工学)	黒田 涼 (43) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	黒田 涼 (43) <平成30年4月> 博士(工学)	黒田 涼 (43) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	黒田 涼 (44) <平成30年4月> 博士(工学)	黒田 涼 (44) <平成30年4月> 博士(工学)	兼任	講師	黒田 涼 (44) <平成30年4月> 博士(工学)	黒田 涼 (44) <平成30年4月> 博士(工学)
			Web制作 Microsoft Office Specialist基礎演習				Web制作 Microsoft Office Specialist基礎演習								
兼任	講師	小池 知之 (55) <平成31年4月> Master of Arts(米)	小池 知之 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米)	兼任	講師	小池 知之 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米)	小池 知之 (54) <平成30年4月> Master of Arts(米)	兼任	講師	小池 知之 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米)	小池 知之 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米)	兼任	講師	小池 知之 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米)	小池 知之 (55) <平成30年4月> Master of Arts(米)
			英語Ⅳ				英語Ⅳ 異文化理解								

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	柴田 徹 (55) <平成30年4月> 修士(教育学)※	Web制作	兼任	講師	柴田 徹 (55) <平成30年4月> 修士(教育学)※	Web制作	兼任	講師	柴田 徹 (56) <平成30年4月> 修士(教育学)※	Web制作	兼任	講師		
兼任	講師	澁谷 真由美 (36) <平成31年4月> 修士(英文学)※	英語AⅢa	兼任	講師	澁谷 真由美 (35) <平成31年4月> 修士(英文学)※	英語AⅢa	兼任	講師			兼任	講師		
兼任	講師	島田 顕 (55) <令和2年4月> 博士(社会学)	国際社会論	兼任	講師	島田 顕 (53) <令和2年4月> 博士(社会学)	国際社会論	兼任	講師	島田 顕 (54) <令和2年4月> 博士(社会学)	国際社会論	兼任	講師		
兼任	講師	志村 聡 (55) <平成30年4月> 理学修士	地理学	兼任	講師	志村 聡 (55) <平成30年4月> 理学修士	地理学	兼任	講師	志村 聡 (56) <平成30年4月> 理学修士	地理学	兼任	講師		
兼任	講師	辛 大基 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	辛 大基 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師	辛 大基 (47) <平成31年4月> 博士(文学)	朝鮮・韓国語Ⅲ 朝鮮・韓国語Ⅳ	兼任	講師		
兼任	講師	菅原 ゆり子 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	健康科学 精神病理学 健康心理アセスメント	兼任	講師	菅原 ゆり子 (56) <平成30年4月> 博士(医学)	健康科学 精神病理学 健康心理アセスメント	兼任	講師	菅原 ゆり子 (57) <平成30年4月> 博士(医学)	健康科学 精神病理学 健康心理アセスメント	兼任	講師		
兼任	講師	杉森 賢司 (62) <平成30年4月> 保健衛生学士	生物学	兼任	講師	杉森 賢司 (62) <平成30年4月> 保健衛生学士	生物学	兼任	講師	杉森 賢司 (63) <平成30年4月> 保健衛生学士	生物学	兼任	講師		
兼任	講師	鈴木 明子 (51) <令和2年4月> 博士(文学)	近代家族論	兼任	講師	鈴木 明子 (49) <令和2年4月> 博士(文学)	近代家族論	兼任	講師	鈴木 明子 (50) <令和2年4月> 博士(文学)	近代家族論	兼任	講師		
兼任	講師	鈴木 邦夫 (69) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済学	兼任	講師	鈴木 邦夫 (69) <平成30年4月> 博士(経済学)	経済学	兼任	講師			兼任	講師		
兼任	講師	高橋 秀司 (49) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学	兼任	講師	高橋 秀司 (48) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学	兼任	講師	高橋 秀司 (49) <平成31年4月> 博士(経済学)	経済学	兼任	講師		
兼任	講師	石 碩 (31) <平成30年4月> 博士(文学)	中国文学									兼任	講師		
兼任	講師	瀬戸 千尋 (50) <平成30年4月> 修士(英語文化)	TOEIC特別演習Ⅰ	兼任	講師	瀬戸 千尋 (50) <平成30年4月> 修士(英語文化)	TOEIC特別演習Ⅰ	兼任	講師	瀬戸 千尋 (51) <平成30年4月> 修士(英語文化)	TOEIC特別演習Ⅰ	兼任	講師		
兼任	講師	妹尾 新太郎 (60) <平成31年4月> 文学修士	英語Ⅳ ミステリー文学	兼任	講師	妹尾 新太郎 (59) <平成31年4月> 文学修士	英語Ⅳ ミステリー文学	兼任	講師	妹尾 新太郎 (60) <平成31年4月> 文学修士	英語Ⅳ ミステリー文学	兼任	講師		
兼任	講師	高橋 浩史 (51) <令和2年4月> 博士(工学)	ネットワーク論	兼任	講師	高橋 浩史 (49) <令和2年4月> 博士(工学)	ネットワーク論	兼任	講師	高橋 浩史 (50) <令和2年4月> 博士(工学)	ネットワーク論	兼任	講師		
兼任	講師	高橋 克也 (55) <令和2年4月> 博士(政策研究)	農林科学	兼任	講師	高橋 克也 (53) <令和2年4月> 博士(政策研究)	農林科学	兼任	講師	高橋 克也 (54) <令和2年4月> 博士(政策研究)	農林科学	兼任	講師		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	高橋 善隆 (53) <平成30年4月> 修士(法学)※	国際関係論 政治学	兼任	講師	高橋 善隆 (53) <平成30年4月> 修士(法学)※	国際関係論 政治学	兼任	講師	高橋 善隆 (54) <平成30年4月> 修士(法学)※	国際関係論 政治学	兼任	講師	高橋 善隆 (54) <平成30年4月> 修士(法学)※	国際関係論 政治学
兼任	講師	高橋 善憲 (48) <令和2年4月> 学士(経営学)	キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅱ	兼任	講師	高橋 善憲 (46) <令和2年4月> 学士(経営学)	キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅱ	兼任	講師	高橋 善憲 (47) <令和2年4月> 学士(経営学)	キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅱ	兼任	講師	高橋 善憲 (47) <令和2年4月> 学士(経営学)	キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア演習(公務員・政治経済)Ⅱ
兼任	講師	竹井 明美 (47) <平成30年4月> 英文学士	ソーシャルマナー	兼任	講師	竹井 明美 (47) <平成30年4月> 英文学士	ソーシャルマナー	兼任	講師	竹井 明美 (48) <平成30年4月> 英文学士	ソーシャルマナー	兼任	講師	竹井 明美 (48) <平成30年4月> 英文学士	ソーシャルマナー
兼任	講師	武田 和久 (42) <令和2年4月> 博士(地域研究)	スペイン語とスペイン文化	兼任	講師	武田 和久 (40) <令和2年4月> 博士(地域研究)	スペイン語とスペイン文化	兼任	講師	武田 和久 (41) <令和2年4月> 博士(地域研究)	スペイン語とスペイン文化	兼任	講師	武田 和久 (41) <令和2年4月> 博士(地域研究)	スペイン語とスペイン文化
兼任	講師	田中 究 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)	深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論	兼任	講師	田中 究 (44) <令和2年4月> 修士(社会学)	深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論	兼任	講師	田中 究 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)	深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論	兼任	講師	田中 究 (45) <令和2年4月> 修士(社会学)	深層心理学 力動的アプローチ 家族療法論
兼任	講師	田中 大介 (59) <令和2年4月> 博士(医学)	子どものころとからだ	兼任	講師	田中 大介 (57) <令和2年4月> 博士(医学)	子どものころとからだ	兼任	講師	田中 大介 (58) <令和2年4月> 博士(医学)	子どものころとからだ	兼任	講師	田中 大介 (58) <令和2年4月> 博士(医学)	子どものころとからだ
兼任	講師	田辺 公一朗 (59) <平成30年4月> 工学博士	画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング	兼任	講師	田辺 公一朗 (59) <平成30年4月> 工学博士	画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング	兼任	講師	田辺 公一朗 (60) <平成30年4月> 工学博士	画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング	兼任	講師	田辺 公一朗 (60) <平成30年4月> 工学博士	画像処理基礎演習 コンピュータ・グラフィックス アプリケーション・プログラミング
兼任	講師	張 国璐 (55) <平成30年4月> 修士(法学)	中国語Ⅱ 中国語Ⅳ	兼任	講師	張 国璐 (55) <平成30年4月> 修士(法学)	中国語Ⅱ 中国語Ⅳ	兼任	講師	張 国璐 (56) <平成30年4月> 修士(法学)	中国語Ⅱ 中国語Ⅳ	兼任	講師	張 国璐 (56) <平成30年4月> 修士(法学)	中国語Ⅱ 中国語Ⅳ
兼任	講師	塚本 哲司 (55) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	福祉心理学	兼任	講師	塚本 哲司 (53) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	福祉心理学	兼任	講師	塚本 哲司 (54) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	福祉心理学	兼任	講師	塚本 哲司 (54) <令和2年4月> 公共政策修士(専門職)	福祉心理学
兼任	講師	徳岡 麻絵子 (42) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	英語Ⅰ	兼任	講師	徳岡 麻絵子 (42) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	英語Ⅰ	兼任	講師	徳岡 麻絵子 (43) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	英語Ⅰ	兼任	講師	徳岡 麻絵子 (43) <平成30年4月> Master of Arts(英国)	英語Ⅰ
兼任	講師	飛渡 洋 (62) <平成31年4月> 文学修士	英語AⅣb 英語Ⅲ	兼任	講師	飛渡 洋 (61) <平成30年4月> 文学修士	英語AⅣb 英語Ⅲ	兼任	講師	飛渡 洋 (62) <平成31年4月> 文学修士	英語AⅣb 英語Ⅲ	兼任	講師	飛渡 洋 (62) <平成31年4月> 文学修士	英語AⅣb 英語Ⅲ
兼任	講師	富澤 典子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)	英語Ⅰ	兼任	講師	富澤 典子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)	英語Ⅰ	兼任	講師	富澤 典子 (67) <平成30年4月> 修士(文学)	英語Ⅰ	兼任	講師	富澤 典子 (67) <平成30年4月> 修士(文学)	英語Ⅰ
兼任	講師	鳥居 珠江 (49) <平成31年4月> 修士(文学)※	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	兼任	講師	鳥居 珠江 (48) <平成30年4月> 修士(文学)※	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	兼任	講師	鳥居 珠江 (49) <平成30年4月> 修士(文学)※	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	兼任	講師	鳥居 珠江 (49) <平成30年4月> 修士(文学)※	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ
兼任	講師	中尾 正史 (58) <令和2年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	兼任	講師	中尾 正史 (56) <平成30年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	兼任	講師	中尾 正史 (57) <平成30年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ	兼任	講師	中尾 正史 (57) <平成30年4月> 文学修士	テーマで学ぶ英語(文化)Ⅱ
兼任	講師	中川 理恵子 (57) <令和2年4月> 文学修士	児童文学	兼任	講師	中川 理恵子 (55) <令和2年4月> 文学修士	児童文学	兼任	講師	中川 理恵子 (56) <令和2年4月> 文学修士	児童文学	兼任	講師	中川 理恵子 (56) <令和2年4月> 文学修士	児童文学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中島 輝賢 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	日本文学 百人一首 日本語演習	兼任	講師	中島 輝賢 (51) <平成30年4月> 修士(文学)※	日本文学 百人一首 日本語演習	兼任	講師	中島 輝賢 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	日本文学 日本語演習				
兼任	講師	奴田原 論 (46) <令和2年4月> 修士(文学)※	文芸理論	兼任	講師	奴田原 論 (44) <令和2年4月> 修士(文学)※	文芸理論	兼任	講師	奴田原 論 (45) <令和2年4月> 修士(文学)※	文芸理論				
兼任	講師	野村 光義 (48) <平成30年4月> 修士(学術)※	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	兼任	講師	野村 光義 (49) <平成30年4月> 修士(学術)※	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化	兼任	講師	野村 光義 (50) <平成30年4月> 修士(学術)※	西洋古典文学 ギリシア語とギリシア文化 ラテン語とローマ文化				
兼任	講師	橋本 憲一郎 (52) <令和2年4月> 工学修士※	建築環境論	兼任	講師	橋本 憲一郎 (50) <令和2年4月> 工学修士※	建築環境論	兼任	講師	橋本 憲一郎 (51) <令和2年4月> 工学修士※	建築環境論				
兼任	講師	橋本 秀美 (64) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	人間関係論	兼任	講師	橋本 秀美 (64) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	人間関係論	兼任	講師	橋本 秀美 (65) <平成30年4月> 博士(学校教育学)	人間関係論				
兼任	講師	橋本 実千代 (52) <令和2年4月> 高等学校卒	色彩検定演習	兼任	講師	橋本 実千代 (50) <令和2年4月> 高等学校卒	色彩検定演習	兼任	講師	橋本 実千代 (51) <令和2年4月> 高等学校卒	色彩検定演習				
兼任	講師	長谷川 悦朗 (52) <平成31年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	長谷川 悦朗 (51) <平成31年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	長谷川 悦朗 (52) <平成31年4月> 修士(文学)※	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ				
兼任	講師	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	英語AⅡb	兼任	講師	馬場 広信 (53) <平成30年4月> 博士(文学)	英語AⅡb								
兼任	講師	浜田 勝義 (65) <平成30年4月> 経済学士	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	兼任	講師	浜田 勝義 (65) <平成30年4月> 経済学士	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ	兼任	講師	浜田 勝義 (66) <平成30年4月> 経済学士	簿記会計基礎演習Ⅰ 簿記会計基礎演習Ⅱ 簿記会計演習Ⅰ 簿記会計演習Ⅱ				
兼任	講師	早崎 えりな (60) <平成30年4月> 文学修士※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	早崎 えりな (60) <平成30年4月> 文学修士※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	兼任	講師	早崎 えりな (61) <平成30年4月> 文学修士※	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ				
兼任	講師	林 久子 (45) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	自己表現演習	兼任	講師	林 久子 (45) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	自己表現演習	兼任	講師	林 久子 (46) <平成30年4月> 学士(保健衛生学)	自己表現演習				
兼任	講師	原 正人 (45) <平成30年4月> 博士(社会学)	アジア現代史	兼任	講師	原 正人 (45) <平成30年4月> 博士(社会学)	アジア現代史	兼任	講師	原 正人 (46) <平成30年4月> 博士(社会学)	アジア現代史				
兼任	講師	ビーン・グリス (63) <平成31年4月> Master of Education (米園)	英語AⅢa	兼任	講師	ビーン・グリス (62) <平成31年4月> Master of Education (米園)	英語AⅢa	兼任	講師	ビーン・グリス (63) <平成31年4月> Master of Education (米園)	英語AⅢa				
兼任	講師	東 宏行 (59) <令和2年4月> 教育学修士※	臨床教育学	兼任	講師	東 宏行 (57) <令和2年4月> 教育学修士※	臨床教育学	兼任	講師	東 宏行 (58) <令和2年4月> 教育学修士※	臨床教育学				
兼任	講師	フワッパ大澤アイト (56) <平成30年4月> Master Degree in Liberal Arts (AFA)	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	兼任	講師	フワッパ大澤アイト (56) <平成30年4月> Master Degree in Liberal Arts (AFA)	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	兼任	講師	フワッパ大澤アイト (57) <平成30年4月> Master Degree in Liberal Arts (AFA)	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	深町(吉田) 珠由 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	深町(吉田) 珠由 (45) <平成30年4月> 博士(学術)	深町(吉田) 珠由 (46) <平成30年4月> 博士(学術)		
		産業と職業	産業と職業	産業と職業		
兼任	講師	藤崎 和子 (59) <令和2年4月> 国際関係学士	藤崎 和子 (57) <令和2年4月> 国際関係学士	藤崎 和子 (58) <令和2年4月> 国際関係学士		
		ITバスポート演習 I ITバスポート演習 II	ITバスポート演習 I ITバスポート演習 II	ITバスポート演習 I ITバスポート演習 II		
兼任	講師	二又 淳 (50) <令和2年4月> 修士(文学)※	二又 淳 (48) <令和2年4月> 修士(文学)※	二又 淳 (49) <令和2年4月> 修士(文学)※		
		日本語演習	日本語演習	日本語演習		
兼任	講師	フヨ ハヂイスト (37) <平成31年4月> 修士(言語学)	フヨ ハヂイスト (36) <平成31年4月> 修士(言語学)			
		フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ	フランス語Ⅲ フランス語Ⅳ			
兼任	講師	ヘニング・ルディ (59) <平成31年4月> Master of Arts (ドイツ)	ヘニング・ルディ (58) <平成31年4月> Master of Arts (ドイツ)	ヘニング・ルディ (59) <平成31年4月> Master of Arts (ドイツ)		
		ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅲ ドイツ語Ⅳ		
兼任	講師	本多 幸七郎 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	本多 幸七郎 (52) <平成30年4月> 修士(文学)※	本多 幸七郎 (53) <平成30年4月> 修士(文学)※		
		英語 A II b	英語 A II b	英語 A II b		
兼任	講師	牧野 修也 (50) <平成30年4月> 博士(社会学)	牧野 修也 (50) <平成30年4月> 博士(社会学)	牧野 修也 (51) <平成30年4月> 博士(社会学)		
		生涯学習概論 教育社会学	生涯学習概論 教育社会学	生涯学習概論 教育社会学		
兼任	講師	松田 洋 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	松田 洋 (52) <平成30年4月> 博士(工学)	松田 洋 (53) <平成30年4月> 博士(工学)		
		情報科学 数学 デジタル・アニメーション	情報科学 数学 デジタル・アニメーション	情報科学 数学 デジタル・アニメーション		
兼任	講師	三浦 いづみ (49) <平成30年4月> 文学士	三浦 いづみ (49) <平成30年4月> 文学士	三浦 いづみ (50) <平成30年4月> 文学士		
		ソーシャルマナー	ソーシャルマナー	ソーシャルマナー		
兼任	講師	三浦 和彦 (62) <平成30年4月> 理学博士	三浦 和彦 (63) <平成30年4月> 理学博士	三浦 和彦 (64) <平成30年4月> 理学博士		
		物理学 地球科学	物理学 地球科学	物理学 地球科学		
兼任	講師	三浦(大島) 久美子 (40) <令和2年4月> 博士(人間科学)	三浦(大島) 久美子 (38) <令和2年4月> 博士(人間科学)	三浦(大島) 久美子 (39) <令和2年4月> 博士(人間科学)		
		視覚と芸術の心理学	視覚と芸術の心理学	視覚と芸術の心理学		
兼任	講師	箕口 雅博 (67) <平成30年4月> 教育学修士	箕口 雅博 (67) <平成30年4月> 教育学修士	箕口 雅博 (68) <平成30年4月> 教育学修士		
		コミュニティ心理学	コミュニティ心理学	コミュニティ心理学		
兼任	講師	水谷 幸恵 (40) <平成30年4月> 修士(体育科学)	水谷 幸恵 (40) <平成30年4月> 修士(体育科学)	水谷 幸恵 (41) <平成30年4月> 修士(体育科学)		
		体育実技 A 体育実技 C 体育実技 G	体育実技 A 体育実技 C 体育実技 G	体育実技 A 体育実技 C 体育実技 G 体育実技 E (水泳)		
兼任	講師	水野 圭子 (51) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)	水野 圭子 (49) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)	水野 圭子 (50) <令和2年4月> DEA(社会法)(フランス)		
		労働法 ビジネス実務法務検定演習	労働法 ビジネス実務法務検定演習	労働法 ビジネス実務法務検定演習		
兼任	講師	南 明恵美 (61) <平成30年4月> 修士(保健体育)	南 明恵美 (61) <平成30年4月> 修士(保健体育)	南 明恵美 (62) <平成30年4月> 修士(保健体育)		
		体育実技 B 体育実技 D 体育実技 H	体育実技 B 体育実技 D 体育実技 H	体育実技 B 体育実技 D 体育実技 H		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	三村 友希 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	三村 友希 (43) <平成30年4月> 博士(文学)	三村 友希 (44) <平成30年4月> 博士(文学)			
		日本文学 日本語演習	日本文学 日本語演習	日本文学 日本語演習			
兼任	講師	三宅 登之 (54) <平成31年4月> 文学修士	三宅 登之 (53) <平成31年4月> 文学修士	三宅 登之 (54) <平成31年4月> 文学修士			
		中国語Ⅲ	中国語Ⅲ	中国語Ⅲ			
兼任	講師	宮崎 修二 (55) <令和2年4月> 修士(神学)※	宮崎 修二 (53) <令和2年4月> 修士(神学)※	宮崎 修二 (54) <令和2年4月> 修士(神学)※			
		聖書学	聖書学	聖書学			
兼任	講師	宮島 琴美 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※	宮島 琴美 (42) <平成31年4月> 修士(文学)※	宮島 琴美 (43) <平成31年4月> 修士(文学)※			
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ	中国語Ⅲ 中国語Ⅳ			
兼任	講師	宮地 克昌 (60) <平成30年4月> 理工学士	宮地 克昌 (60) <平成30年4月> 理工学士	宮地 克昌 (61) <平成30年4月> 理工学士			
		イベント論	イベント論	イベント論			
兼任	講師	宮本 和茂 (40) <平成30年4月> 修士(文学)	宮本 和茂 (40) <平成30年4月> 修士(文学)	宮本 和茂 (41) <平成30年4月> 修士(文学)			
		英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ	英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ	英語AⅠa 英語AⅢb 英語Ⅱ			
兼任	講師	村越 麻子 (61) <平成30年4月> 文学修士	村越 麻子 (61) <平成30年4月> 文学修士	村越 麻子 (62) <平成30年4月> 文学修士			
		英語AⅠb	英語AⅠb	英語AⅠb			
兼任	講師	室田 康子 (63) <平成30年4月> 修士(社会情報学)	室田 康子 (63) <平成30年4月> 修士(社会情報学)	室田 康子 (64) <平成30年4月> 修士(社会情報学)			
		現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方	現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方	現代ジャーナリズム論 マスコミとの付き合い方			
兼任	講師	餅原 匡子 (51) <平成30年4月> 文学士	餅原 匡子 (51) <平成30年4月> 文学士	餅原 匡子 (52) <平成30年4月> 文学士			
		ソーシャルマナー	ソーシャルマナー	ソーシャルマナー			
兼任	講師	山口 豊一 (66) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科学)	山口 豊一 (64) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科学)	山口 豊一 (65) <令和2年4月> 博士(カウンセリング科学)			
		関係行政論	関係行政論	関係行政論			
兼任	講師	山里 盛文 (40) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専門職)	山里 盛文 (38) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専門職)	山里 盛文 (39) <令和2年4月> 博士(法学)/法務博士(専門職)			
		民事法	民事法	民事法			
兼任	講師	山本 武秀 (43) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)	山本 武秀 (43) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)	山本 武秀 (44) <平成30年4月> 修士(政策・メディア)			
		キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ	キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・政治経済)Ⅱ			
兼任	講師	山本 誠 (55) <平成30年4月> 法学士	山本 誠 (55) <平成30年4月> 法学士	山本 誠 (56) <平成30年4月> 法学士			
		キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ	キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア基礎演習(公務員・法律)Ⅱ			
兼任	講師	ユ・ギ- (32) <平成30年4月> 学士(観光学)	ユ・ギ- (32) <平成30年4月> 学士(観光学)	ユ・ギ- (33) <平成30年4月> 学士(観光学)			
		英語BⅠb 英語BⅡb 英語BⅢb 英語BⅣb	英語BⅠb 英語BⅡb 英語BⅢb 英語BⅣb	英語BⅠb 英語BⅡb 英語BⅢb 英語BⅣb			
兼任	講師	湯原 かの子 (69) <平成30年4月> 文学博士	湯原 かの子 (70) <平成30年4月> 文学博士				
		文芸理論	文芸理論				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横川 澄枝 (68) <平成31年4月> 修士(人文科学)※
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	横田 仁子 (56) <令和2年4月> 医学博士
		心身医学
兼任	講師	吉川 京子 (47) <令和2年4月> 準学士
		色彩検定演習
兼任	講師	吉崎 圓 (63) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語AⅠb
兼任	講師	吉田 次郎 (67) <令和2年4月> 理学博士
		水産学 河川海洋学
兼任	講師	吉原 誠 (60) <令和2年4月> 法学士
		キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ
兼任	講師	うげむ・ゲリー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)
		英語Ⅲa 英語Ⅳa
兼任	講師	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライティング
兼任	講師	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※
		中国語Ⅳ
兼任	講師	林 淑美 (68) <平成30年4月> 博士(文学)
		文芸理論
兼任	講師	レイ・ハトリク (48) <平成30年4月> Master of Science in Education(米国)
		英語Ⅰ
兼任	講師	ワグマン・マカレット (65) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)
		英語AⅣa 英語Ⅰ
兼任	講師	若狭 基道 (47) <平成30年4月> 博士(文学)
		言語科学 記号論
兼任	講師	渡辺 玲子 (65) <平成30年4月> 修士(文学)※
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	青木 幸子 (61) <平成30年4月> 博士(芸術工学)
		教育学 教育学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横川 澄枝 (67) <平成31年4月> 修士(人文科学)※
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	横田 仁子 (54) <令和2年4月> 医学博士
		心身医学
兼任	講師	吉川 京子 (45) <令和2年4月> 準学士
		色彩検定演習
兼任	講師	吉崎 圓 (64) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語AⅠb
兼任	講師	吉田 次郎 (65) <令和2年4月> 理学博士
		水産学 河川海洋学
兼任	講師	吉原 誠 (58) <令和2年4月> 法学士
		キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ
兼任	講師	うげむ・ゲリー (52) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)
		英語Ⅲa 英語Ⅳa
兼任	講師	李 振漢 (54) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		中国語Ⅲ 中国語リーディング・ライティング
兼任	講師	陸 偉栄 (54) <平成31年4月> 修士(文学)※
		中国語Ⅳ
兼任	講師	林 淑美 (69) <平成30年4月> 博士(文学)
		文芸理論
兼任	講師	レイ・ハトリク (48) <平成30年4月> Master of Science in Education(米国)
		英語Ⅰ
兼任	講師	ワグマン・マカレット (65) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)
		英語AⅣa 英語Ⅰ TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	若狭 基道 (47) <平成30年4月> 博士(文学)
		言語科学 記号論
兼任	講師	渡辺 玲子 (65) <平成30年4月> 修士(文学)※
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	青木 幸子 (61) <平成30年4月> 博士(芸術工学)
		教育学 教育学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横川 澄枝 (68) <平成31年4月> 修士(人文科学)※
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	横田 仁子 (55) <令和2年4月> 医学博士
		心身医学
兼任	講師	吉川 京子 (46) <令和2年4月> 準学士
		色彩検定演習
兼任	講師	吉崎 圓 (64) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語AⅠb
兼任	講師	吉田 次郎 (66) <令和2年4月> 理学博士
		水産学 河川海洋学
兼任	講師	吉原 誠 (59) <令和2年4月> 法学士
		キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ
兼任	講師	うげむ・ゲリー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)
		英語Ⅲa 英語Ⅳa
兼任	講師	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		中国語Ⅲ
兼任	講師	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※
		中国語Ⅳ
兼任	講師	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)
		文芸理論
兼任	講師	レイ・ハトリク (49) <平成30年4月> Master of Science in Education(米国)
		英語Ⅰ
兼任	講師	ワグマン・マカレット (66) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)
		英語AⅣa 英語Ⅰ TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	若狭 基道 (48) <平成30年4月> 博士(文学)
		言語科学 記号論
兼任	講師	渡辺 玲子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)※
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)
		教育学 教育学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横川 澄枝 (68) <平成31年4月> 修士(人文科学)※
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	横田 仁子 (55) <令和2年4月> 医学博士
		心身医学
兼任	講師	吉川 京子 (46) <令和2年4月> 準学士
		色彩検定演習
兼任	講師	吉崎 圓 (64) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語AⅠb
兼任	講師	吉田 次郎 (66) <令和2年4月> 理学博士
		水産学 河川海洋学
兼任	講師	吉原 誠 (59) <令和2年4月> 法学士
		キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ
兼任	講師	うげむ・ゲリー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)
		英語Ⅲa 英語Ⅳa
兼任	講師	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		中国語Ⅲ
兼任	講師	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※
		中国語Ⅳ
兼任	講師	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)
		文芸理論
兼任	講師	レイ・ハトリク (49) <平成30年4月> Master of Science in Education(米国)
		英語Ⅰ
兼任	講師	ワグマン・マカレット (66) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)
		英語AⅣa 英語Ⅰ TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	若狭 基道 (48) <平成30年4月> 博士(文学)
		言語科学 記号論
兼任	講師	渡辺 玲子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)※
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)
		教育学 教育学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	横川 澄枝 (68) <平成31年4月> 修士(人文科学)※
		中国語Ⅲ 中国語Ⅳ
兼任	講師	横田 仁子 (55) <令和2年4月> 医学博士
		心身医学
兼任	講師	吉川 京子 (46) <令和2年4月> 準学士
		色彩検定演習
兼任	講師	吉崎 圓 (64) <平成30年4月> 博士(文学)
		英語AⅠb
兼任	講師	吉田 次郎 (66) <令和2年4月> 理学博士
		水産学 河川海洋学
兼任	講師	吉原 誠 (59) <令和2年4月> 法学士
		キャリア演習(公務員・法律)Ⅰ キャリア演習(公務員・法律)Ⅱ
兼任	講師	うげむ・ゲリー (53) <平成31年4月> Bachelor of Arts in History (加国)
		英語Ⅲa 英語Ⅳa
兼任	講師	李 振漢 (55) <平成31年4月> 修士(教育学)※
		中国語Ⅲ
兼任	講師	陸 偉栄 (55) <平成31年4月> 修士(文学)※
		中国語Ⅳ
兼任	講師	林 淑美 (70) <平成30年4月> 博士(文学)
		文芸理論
兼任	講師	レイ・ハトリク (49) <平成30年4月> Master of Science in Education(米国)
		英語Ⅰ
兼任	講師	ワグマン・マカレット (66) <平成30年4月> Master of Arts in Education (米国)
		英語AⅣa 英語Ⅰ TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	若狭 基道 (48) <平成30年4月> 博士(文学)
		言語科学 記号論
兼任	講師	渡辺 玲子 (66) <平成30年4月> 修士(文学)※
		英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語再入門B TOEIC特別演習Ⅰ
兼任	講師	青木 幸子 (62) <平成30年4月> 博士(芸術工学)
		教育学 教育学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名	
兼任		秋田川 麗士 (38) <平成30年4月> 博士(文学)	講師 中国文学					
兼任		李 美蘭 (47) <平成30年4月> 博士(学術)※	講師 朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II	兼任	講師	李 美蘭 (48) <平成30年4月> 博士(学術)※	講師 朝鮮・韓国語 I 朝鮮・韓国語 II	
兼任		鶴 聖隆 (50) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)※	講師 朝鮮・韓国語 II	兼任	講師	鶴 聖隆 (51) <平成30年4月> 博士(日本語日本文学)※	講師 朝鮮・韓国語 II	
				兼任	講師	秋山 まき子 (58) <平成31年4月> 修士(言語学 TESOL)(米 国)、修士(言語学 音声学) (米国)※		
				兼任	講師	英語 A II b		
				兼任	講師	7444444444444444 (30) <平成31年4月> Maitrise ARTS, LETTRES, LANGUES Mention LETTRES (フ ランス)		
						フランス語 III フランス語 IV		
				兼任	講師	伊藤 友美 (30) <平成31年4月> 修士(文学)※		
						英語 A III a		
				兼任	講師	古田島 綾子 (48) <平成31年4月> 修士(文学)		
						英語 A II a		
				兼任	講師	キヤンペック・ダラント (28) <平成31年4月> Bachelor of Arts (オーストラ リア)		
						英語 III b 英語 III b		
				兼任	講師	清水 雅夫 (50) <平成31年4月> 文学修士		
						英語 II		
				兼任	講師	スコット・ケヴィン (55) <平成31年4月> Humanities (Master's Degree) (米国)		
						英語 A III a 英語 A IV a 英語 III 英語 IV		
				兼任	講師	鈴木 晴 (58) <平成31年4月> 修士(文学)※		
						フランス語 III		
				兼任	講師	須藤 幸也 (44) <平成31年4月> 博士(社会学)		
						経済学		
				兼任	講師	田中 秀実 (41) <平成31年4月> 博士(経済学)		
				兼任	講師	1111111111111111 (31) <平成31年4月> Master of Arts (フィリピン)		
						英語 III a 英語 III a 英語 III a 英語 III a		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
					文 智康 (46) <平成31年4月> 博士(言語学)									
					新幹・韓国語Ⅲ 新幹・韓国語Ⅳ									
					林 典子 (46) <平成31年4月> 修士(児童学)									
					保育学									
					弘光 健太郎 (31) <平成31年4月> 博士(心理学)									
					心理学実験									
					藤本 隆史 (52) <平成31年4月> 博士(社会学)									
					統計学									
					堀 野雄 (64) <平成31年4月> 文学修士									
					英語AⅢb 英語AⅣb									
					渡邊 豊記 (41) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)									
					中国文学									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**置可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「伊澤成男（教授）」の病欠により、プロゼミⅠを開講せず。
- ・平成30年4月「森まり子（兼任）」昇格。
- ・平成30年4月「横山太郎（兼任）」昇格。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅰ」、「フランス語Ⅱ」を「寺本敬子（兼任）」から「鳥居珠江（兼任）」に変更。
- ・「山崎妙（兼任）」就任辞退により、「英語再入門B」、「英語ライティング」、「異文化理解」、「TOEIC特別演習Ⅱ」を「峰松和子（兼任）」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「伊藤穰（兼任）」に「マルチメディア基礎演習（音楽制作）」を追加。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「杉本昌裕（兼任）」に「教育原理」を追加。
- ・「新井保裕（兼任）」就任辞退により、「朝鮮・韓国語Ⅰ」を「李英蘭（兼任）」に変更。
- ・「新井保裕（兼任）」就任辞退により、「朝鮮・韓国語Ⅱ」を「李英蘭（兼任）」、「魏聖鎧（兼任）」に変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「小池知之（兼任）」に「異文化理解」を追加。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「江田優子（兼任）」、「中尾正史（兼任）」に「英語AⅠb」を追加。
- ・「小谷彰吾（兼任）」就任辞退により、「教育学」、「教育学概論」を「青木幸子（兼任）」に変更。
- ・「石塚（兼任）」就任辞退により、「中国文学」を「明田川聡士（兼任）」に変更。
- ・習熟度別クラス新設の理由により、「富澤典子（兼任）」に「英語AⅡb」を追加。
- ・履修機会を増やす理由により、「マーガレット・ワークマン（兼任）」に「TOEIC特別演習Ⅰ」を追加。

【令和元年度】

- ・「阿部洋子（教授）」の就職就任により、「プロゼミⅡ」を「小栗貴弘（准教授）」に変更。
- ・「阿部洋子（教授）」の就職就任により、「心理学実験」を「弘光健太郎（兼任）」に変更。
- ・「伊澤成男（教授）」の退職により、「学校臨床心理学」、「心理演習」、「心理実習B」、「臨床心理学演習ⅠA」、「臨床心理学演習ⅠB」、「臨床心理学演習ⅡA」、「臨床心理学演習ⅡB」を「小栗貴弘（准教授）」に変更。
- ・平成31年4月「酒井佳永（准教授）」昇格。
- ・平成31年4月「新井雅（講師）」昇格。
- ・「プロゼミⅠ」を新規開講し、「小栗貴弘（准教授）」に追加。
- ・平成31年4月「鶴田雅昭（兼任）」昇格。
- ・平成31年4月「南里隆宏（兼任）」身分変更。
- ・「横山太郎（教授）」退職により、「日本語演習」の後任を令和2年3月までに決定予定。
- ・平成31年4月「伊藤穰（兼任）」昇格。
- ・「杉本昌裕（兼任）」退職により、「教育原理」を削除。他に担当教員が1名いるため、授業に支障なし。
- ・「7thイテ・カクラン（兼任）」退職により、「英語BⅠa」、「英語BⅡa」、「英語BⅢa」、「英語BⅣa」を「トマデル・ラフソネル（兼任）」に変更。
- ・「池田光義（兼任）」退職により、「認識論」を「須藤孝也（兼任）」に変更。
- ・「カカ・ジョン（兼任）」就任辞退により、「英語BⅢb」、「英語BⅣb」を「ケルバル・グラト（兼任）」に変更。
- ・「小川清美（兼任）」退職により、「保育学」を「林典子（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「兼利琢也（兼任）」、「スコット・ケイン（兼任）」に「英語AⅢa」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「江田優子（兼任）」、「スコット・ケイン（兼任）」に「英語AⅣa」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「小暮正人（兼任）」に「英語Ⅰ」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「統計学」を「小巻泰之（兼任）」から「藤本隆史（兼任）」に変更。
- ・「小室龍之介（兼任）」就任辞退により、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」を「スコット・ケイン（兼任）」に変更。
- ・「池田京（兼任）」就任辞退により、「朝鮮・韓国語Ⅲ」、「朝鮮・韓国語Ⅳ」を「文智暎（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「フランス語Ⅲ」を「篠原洋治（兼任）」から「鈴木暁（兼任）」に変更。
- ・「渋谷真由美（兼任）」就任辞退により、「英語AⅢa」を「伊藤友美（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「妹尾新太郎（兼任）」、「堀邦維（兼任）」に「英語AⅣb」を追加。
- ・教育課程編成上の理由により、「鳥居珠江（兼任）」から「フランス語Ⅲ」、「フランス語Ⅳ」を削除。他に担当教員が4名いるため、授業に支障なし。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「百人一首」を「中島輝賢（兼任）」から「加美甲多（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「英語AⅡb」を「鳥場広信（兼任）」から「秋山まき子（兼任）」に変更。
- ・「フョハディト（兼任）」就任辞退により、「フランス語Ⅲ」、「フランス語Ⅳ」を「ルサドラ・ハジー（兼任）」に変更。
- ・平成31年4月「水谷幸恵（兼任）」身分変更。
- ・履修機会を増やす理由により、「水谷幸恵（兼任）」に「体育実技E（水泳）」を追加。
- ・他学部教育課程編成上の理由により、「中国語リーディング・ライティング」を「李振漢（兼任）」から「安本真弓（兼任）」に変更。
- ・教育課程編成上の理由により、「中国文学」を「秋田川聡士（兼任）」から「渡邊登紀（兼任）」に変更。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「古田島綾子（兼任）」に「英語AⅡa」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「清水雅夫（兼任）」に「英語Ⅱ」を追加。
- ・履修機会を増やす理由により、「田中秀美（兼任）」に「経済学」を追加。
- ・履修者増に伴う担当者追加の理由により、「堀邦維（兼任）」に「英語AⅢb」を追加。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **随所で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
6	2	2	0	10	6	3	1	0	10
(6)	(2)	(2)	(0)	(10)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
6	3	1	0	10	6	3	1	0	10
[0]	[1]	[Δ 1]	[0]	[10]	[0]	[1]	[Δ 1]	[0]	[10]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	1 名	1 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{1}{10} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	伊澤 成男	H31.3	必修	プロゼミ I	①	H31.3.31付依願退職のため辞任（元）			
				選択	学校臨床心理学	①				
				選択	心理演習	①				
				選択	心理実習B	①				
				必修	臨床心理学演習 I A	①				
				必修	臨床心理学演習 I B	①				
				必修	臨床心理学演習 II A	①				
				必修	臨床心理学演習 II B	①				
必修	卒業論文・卒業研究	①								
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{10} = \boxed{10} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>H31.4に後任が就任しており、学生への影響は限定的である。学生には、学科のオリエンテーションや学生便覧で専任教員が交代した旨を周知した。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
設 置 時 (H29年12月)	<p>・観光コミュニティ学部観光デザイン学科の入学定員超過の是正に努めること。</p> <p>・観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>留意事項</p> <p>平成30年度の入学者数は5月1日時点で142名（充足率118.3%）であり、設置以来4年間の定員充足率の平均は1.27倍となった。適正な入学者数となるように合否判定を厳格に行ない、入学定員超過の改善に努めることとする。(30)</p> <p>平成30年度の入学者数は5月1日時点で88名（充足率110.0%）である。単年度としては入学定員を満ちし、設置以来4年間の定員充足率の平均は0.71倍となったが、今後も更なる広報等の強化を図る予定である。(30)</p>	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (H30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (H31年3月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<心理学部 臨床心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>「設置の趣旨を記載した書類」に関する事項</p> <p>8. 入学者選抜の概要</p> <p>(2) 一般入学試験 募集定員75名</p> <p>(3) 推薦入学試験 募集定員30名</p> <p>(4) A〇入学試験 募集定員15名</p> <p>13. 管理運営</p> <p>大学における意思決定は、学長が行う。全学的基本方針を審議する大学評議会、および学部に関わる事項を審議する学部教授会を置き、学長が決定を行うに当たり、意見を述べる。心理学部においても教授会を組織し、学部・学科の運営にあたる。大学評議会、学部教授会ともに毎月2回の開催を標準としている。</p> <p>4. 教育課程の編成の考え方及び特色</p> <p>(4) 資格取得を考慮した教育課程 心理学部臨床心理学科では心理学を学んだ学生が将来活躍する時に有効な資格として、「公認心理師」(国家資格)、「臨床心理士」(公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会認定資格)、「認定心理士」(公益財団法人日本心理学会認定資格)、「認定健康心理士」(一般社団法人日本健康心理学会認定資格)の資格取得を十分に視野に入れ、必要な科目を配置した。</p> <p>13. 管理運営 ②学部教授会</p> <p>③各種委員会</p> <p>14. 自己点検・評価</p> <p>[内部質保証] 2 大学は、自ら掲げる理念・目的を実現するために、内部質保証システムを構築し、恒常的・継続的に教育の質の保証及び向上に取り組まなければならない。</p>	<p>一般入試の割合を多くするため、平成31年度入試より各入試の募集定員を以下のとおり変更する。</p> <p>(2) 一般入学試験 募集定員77名</p> <p>(3) 推薦入学試験 募集定員28名</p> <p>(4) A〇入学試験 募集定員15名</p> <p>心理学部の設置にあたり、「大学評議会規程」の学部選出評議員の定数を規定した。</p> <p>別紙資料1</p> <p>心理学部設置に伴う文学部人文学科教育課程の変更、および「公認心理師法施行規則」の施行に伴う心理学部臨床心理学科専門科目の名称変更を行うことが必要となった。</p> <p>別紙資料2(跡見学園女子大学学則)</p> <p>内部質保証を充実させるために「教授会規程」に自己点検・評価に関する事項を追加。 別紙資料3</p> <p>また、教授会常設の委員会として自己点検・評価委員会を置くことを新たに規定した。 別紙資料4(跡見学園女子大学教授会各種委員会規程)</p> <p>内部質保証を充実させる組織体制を実現できるよう「自己点検・評価規程」を「自己点検・評価に関する規程」と改め、規定した。 別紙資料5</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

心理学部設置にあわせ、同学部内に教育・研究支援委員会を組織した。また、同学部教員が全学教育・研究支援委員会の構成員に加わり、協働して授業内容方法の改善を行う。

本学における授業内容方法の改善については、大学評議会の下にある全学教育・研究支援委員会が組織的な取組の中心を担う。

委員会では、基本的な理念の策定や全学レベルの企画を行うとともに、心理学部、文学部、マネジメント学部、観光コミュニティ学部、全学共通科目運営センターとの連携を図る場としての機能を果たしている。他方で、各学部にもそれぞれに教育・研究支援委員会が、また全学共通科目運営センターには全学共通科目運営センター委員会があり、全学教育・研究支援委員会と協働しつつ、授業改善のための具体的な取組を組織的にしている。

- ・学部教育研究支援委員会
- ・全学教育研究支援委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・学部教育研究支援委員会

跡見学園女子大学教授会各種委員会規程

第八条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。

- 一 学期の始まる月（定例）
- 二 委員長が必要と認めたとき
- 三 委員の三分の一以上の要求があったとき

第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。

・全学教育研究支援委員会

跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程

第八条 委員長は、大学評議会議長からの諮問を受けて、委員会を招集する。

2 前項にかかわらず、次の各号の一に該当する場合、委員長は委員会を招集する。

- 一 学年の始まる月（定例）
- 二 委員長が必要と認めたとき
- 三 委員の三分の一以上の要求があったとき

第九条 委員会は、委員の三分の二以上出席がなければ、議事を開き議決することができない。

以上のとおり規定し、原則月1～2回の開催。

c 委員会の審議事項等

② 実施状況

a 実施内容

委員会で企画する以下の事項

- ・授業方法について研究会（ワークショップ）
- ・教員相互の授業参観
- ・新任教員のための研修会参加（私立大学連盟等）
- ・「FDジャーナル」「学術年報」の刊行

b 実施方法

- ・全学的な取り組みとして、FD懇談会、FD講演会の開催
- ・全学共通科目運営センターの取り組み FDワークショップ
- ・学部、大学院研究科単位の取り組み FD講演会、FDワークショップ
- ・学生による授業評価アンケート 原則全科目
（ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・FD懇談会は、年度初めに専任教員と兼任教員が一堂に会し、親睦を深めるとともに、本学の建学の精神、教育理念等を共通認識する機会として開催。
- ・FD講演会は、年に1度高等教育に見識のある講師を招いて開催
- ・FDワークショップは、基調講演を行い意見交換など実施
- ・上記の他、私立大学連盟等の主催する研究会などに教員を派遣。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「FDジャーナル」に授業改善と教育力向上をめざす実践報告を多数の教員が行っている。
- ・「学術年報」を刊行し、教育研究業績を報告している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期最終週に授業評価アンケートを実施する。

- ・学生による授業評価アンケート 原則全科目
（ただし、文学部後期課程科目の演習と大学院科目、履修者10名以下の科目、集中講義を除く。）

b 教員や学生への公開状況、方法等

文京キャンパス事務室フロア、新座キャンパス教務課前カウンターに報告書を配置し、自由に閲覧することができる。

また、各教員に対しては、別途、担当科目の集計結果及びコメントシートの配布を行っている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

- a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）
- b 委員会の開催状況（回数や開催日など）
- c 委員会の審議事項等
- d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
心理学部は、人の心についての広く深い科学的な知見と技術をもとに、人々の健康的な人生に寄与し、人間関係の理解とスキルを活かした豊かな組織と社会づくりに貢献する人材の養成を目的とする。
開設初年度においては、上記の目的実現に向け努めているところである。

② 自己点検・評価報告書
跡見学園女子大学では、平成19年度には、学長の指導のもと平成14年～18年度を対象の自己点検・評価を行い、平成20年度大学基準協会による大学評価を申請した。その結果、大学基準に適合しているものと評価され、平成21年4月1日より平成28年3月末日までの7年間の認定を受けた。
平成27年度には（公財）大学基準協会による認証評価を受審し、大学基準に適合していると評価された。平成28年4月1日より平成35年3月末日までの7年間の認定を受けた。なお、今回設置した学部・学科については、平成27年度の評価対象となっておらず、平成34年度に認証評価を受ける予定。

a 公表（予定）時期
・既に大学ホームページに公表済み

b 公表方法
・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画
平成27年度に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けている（除、観光コミュニティ学部、心理学部）。平成31年度以降は学内で自己点検・評価を行い、次回、平成34年度の認証評価に備える。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （令和元年度履行状況報告書については令和元年5月31日に公表予定）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

跡見学園女子大学大学評議会規程

平成14年4月1日施行

第一条 この規程は、跡見学園女子大学学則第五条の三に基づき、大学評議会の組織に関し必要な事項を定める。

第二条 大学評議会の評議員は、次に掲げる者をもって充てる。

一 学長

二 跡見学園寄附行為第八条第1項第二号に定める理事たる副学長（以下「理事たる副学長」という。）

三 学部長

四 附属教育研究組織の長のうち、全学共通科目運営センター長及び図書館長

五 学部から選出される教授については、文学部にあつては2名、マネジメント学部にあつては1名、観光コミュニティ学部にあつては1名及び心理学部にあつては1名の者

六 大学評議会の議に基づいて学長が指名する専任教員については、3名までの者

2 評議員の任期は、前項第一号乃至第四号についてはその職にある期間とし、同第五号については2年とし、同第六号については2年以内で学長の定める期間とし、再任を妨げない。ただし、前項第五号の評議員が事務部局の長に就いたときは、辞任しなければならない。

3 前々項第五号の評議員に欠員が生じた場合の補欠の評議員の任期は、前任者の残任期間とする。

第三条 前条第1項第四号にいう評議員たる附属教育研究組織の長の選考は、四つの学部それぞれの教授会における推薦を参酌し、学長が行う。

2 前条第1項第五号にいう学部から選出される教授としての評議員の選考は、教授会における選挙により行う。

3 前項の選挙に必要な事項は、別に定める。

第四条 大学評議会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち評議員でない者は、議決権をもたない。

一 附属教育研究組織の長

二 全学委員会の長

三 事務部局の長

第五条 大学評議会は、必要に応じ参考人を招致することができる。

第六条 大学評議会は、必要に応じ教職員の傍聴を許可することができる。

第七条 大学評議会は、学則第五条の三第4項に定める次の事項について学長が決定を行うに当たり、審議し、意見を述べる。

一 本学の教育研究上の目的を達成するための基本的な計画及び適正な実施に関する事項

二 学則その他重要な規則の制定又は改廃に関する事項

三 本学の研究活動適正化の推進に関する事項

四 本学の予算の見積りの方針に関する事項

五 学部、学科及び研究科、専攻その他の重要な組織の設置又は廃止並びに学生の定員に関する事項

六 本学の教員の教育研究業績の審査に関する事項

七 本学の教育課程の編成の方針に関する事項

八 学生の厚生及び補導に関する事項

九 学生の入学、卒業、課程の修了及び学位の授与の方針に関する事項

十 学生の転部・転科の方針に関する事項

十一 学則第三十四条に係る学生の退学、停学及び訓告に関する事項

十二 本学の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項

十三 本学の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項

第八条 大学評議会に議長を置き、学長をもって充てる。

2 大学評議会に副議長を置き、理事たる副学長をもって充てる。

第九条 議長は、大学評議会を主宰する。

2 副議長は、議長を助ける。

3 議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、副議長が、議長の職務を行う。

4 議長及び副議長に共に事故があるときは、評議員が仮議長を互選しこれに議長の職務を行わせる。

第十条 削除

第十一条 議長は、次の各号の一に該当する場合、大学評議会を招集する。

一 月1回（定例）

二 議長が必要と認めたとき

三 評議員の三分の一以上の要求があったとき

第十二条 大学評議会は、評議員の三分の二以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第十三条 大学評議会の議事は、評議員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

2 前項にかかわらず、次に掲げる事項については、評議員の出席者の三分の二以上をもって決する。

一 学則の改正

二 学長選考委員会規程の改正

三 学長選考委員会運営規程の改正

四 その他特別の必要があると認められる事項

第十四条 大学評議会の下に、必要に応じ全学委員会を置く。

2 全学委員会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第十五条 大学評議会に関する事務は、議長の監督の下に、事務局長が統括する。

第十六条 大学評議会の議事録は、議長の監督の下に、事務局長が作成し、大学評議会において確認する。

2 議長は、教職員に対し、議事及び決議をすみやかに周知し、議事録を閲覧に供しなければならない。

第十七条 この規程に定める他に必要な事項は、大学評議会の定めるところによる。

第十八条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成15年4月1日より施行する。

附 則

1 この規程は、平成19年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日より施行する。

改正 平成15年4月1日一部改正
平成19年4月1日一部改正
平成27年4月1日一部改正
平成30年4月1日一部改正

改正 平成14年4月1日一部改正
平成27年4月1日一部改正

平成19年4月1日一部改正
平成30年5月16日一部改正

第1章 総則

第1条 この規程は、跡見学園女子大学学則（以下「学則」と言う。）第6条に基づき、教授会の組織に関し必要な事項を定める。

第2章 教授会

第2条 教授会は、学部にも所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって組織する。

第2条の2 教授会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち学部にも所属しない者は、議決権をもたない。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 附属教育研究組織の長
- (4) 評議員
- (5) 全学委員会の長
- (6) 事務部局の長
- (7) その他教授会の定める者

第2条の3 教授会は、必要に応じ参考人を招致することができる。

第2条の4 教授会は、学則第6条第3項及び第5項に定める次の事項を審議する。

- (1) 学生の入学及び卒業
- (2) 学位の授与
- (3) 学部の教育課程の編成
- (4) 学部の教員の教育研究業績の審査
- (5) 学部の教育研究上の目的を達成するための方針に関する事項
- (6) 学生の転部・転科に関する事項
- (7) 学部にも固有な規則の制定又は改廃に関する事項
- (8) 学部の予算の執行に関する事項
- (9) 学部の教育内容及び教育方法の改善を図るための組織的な研修及び研究の実施に関する事項
- (10) 学部の教育研究活動等の状況について行う自己点検・評価に関する事項

第3条 教授会に議長を置き、学部長をもって充てる。

2 教授会に副議長を置き、学則第5条の3第2項第6号の評議員をもって充てる。なお文学部においては2名の学部選出評議員のうち先任の者を充てる。

第3条の2 議長は、教授会を主宰する。

2 副議長は、議長を助ける。

3 議長に事故があるとき又は議長が欠けたときは、副議長が、議長の職務を行う。

4 議長及び副議長に共に事故があるときは、仮議長を互選し議長の職務を行わせる。なお文学部においては2名の学部選出評議員のうち先任の者でない者を充てる。

第3条の3 前条第4項により教授会が議事を開き議決した場合、仮議長は、学長にそのことを報告し承認を求めなければならない。

第4条 議長は、次の各号の一に該当する場合、教授会を招集する。

- (1) 月1回（定例）
- (2) 議長が必要と認めたとき
- (3) 構成員の3分の1以上の要求があったとき

第5条 削除

第6条 教授会は、構成員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

2 前項において、留学者及び休職者は構成員の数から省く。

第7条 削除

第8条 教授会の議事は、構成員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

第3章 学科主任、学科会議、各種委員会及び教授会運営委員会

第8条の2 学科に学科主任を置き、学科に所属する専任の教授のうちから学部長がこれを任命する。

2 学科主任の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、引き続き4年を超えることができない。

3 学科主任は、学科の教育課程及び教員組織を統轄する。

第9条 教授会のもとに、学科に所属する専任の教授、准教授、講師及び助教をもって学科会議を組織する。

2 学科会議は、必要に応じ前項に定める構成員以外の者を出席させ、発言させることができる。ただし、このうち学科に所属しない者は、議決権をもたない。

3 学科会議は、第2条の4に定める事項のうち、学科の教育課程と教員組織の運営に必要な事項を審議する。

4 学科会議に議長を置き、学科主任をもって充てる。

5 学科会議に副議長を置き、学科主任がこれを指名する。

6 学科会議の運営にあたっては、第3条の2乃至第8条を準用する。ただし第3条の3の「学長」を「学部長」と読み替える。このほか、各学科を通じて必要な事項は、教授会の定めるところによる。

第9条の2 教授会のもとに、教員の採用及び昇任を選考するために必要な資格を審査する資格審査委員会を置く。

2 資格審査委員会に委員長を置き、教授会で互選する。

3 資格審査委員会の組織に関し必要な事項は、別に教授会が定める。

第9条の3 前条に定めるほかに教授会のもとに、校務分掌に応じて必要な各種の委員会（以下「各種委員会」という。）を置く。

2 前項に定める委員会の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第9条の4 学部長のもとに、教授会運営委員会を置き、学部長、学部選出の大学評議員、学長が指名する大学評議員のうち学部所属者及び学科主任をもってこれを組織し、必要に応じて各種委員会委員長をこれに加えることができる。

2 教授会運営委員会は、教授会の議事を整理し、学科会議及び各種委員会の連絡・調整を行うとともに、教授会の定めた事項の実施を推進する。

第4章 教授会事務

第10条 教授会に関する事務は、議長の監督の下に、事務局長が統括する。

第11条 教授会の議事録は、議長の監督の下に、事務局長が作成し、教授会において確認する。

第5章 雑則

第12条 この規程に定める他に学部を通じて必要な事項は、大学評議会の定めるところによる。

2 この規程を運用するに当たり、教授会は、大学評議会の定めるところにしたがって、必要な事項を定めることができる。

第13条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成14年4月1日より改正実施する。

附 則

この規程は、平成19年4月1日改正実施する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日改正実施する。

附 則（平成30年5月16日改正附則）

1 この規程は、平成30年5月16日から改正施行する。

第1章 総則

第1条 この規程は、跡見学園女子大学教授会規程（以下「教授会規程」という。）第9条の2及び第9条の3に基づき、教授会のもとに置く各種委員会の目的及び組織に関し必要な事項を定める。

第2条 教授会に、次に掲げる常設の委員会を置く。

- (1) 教育・研究支援委員会
- (2) 予算委員会
- (3) 学務委員会
- (4) 入試委員会
- (5) 資格審査委員会
- (6) 自己点検・評価委員会

第3条 教授会は、必要に応じ、期間と所管事項を定めて、臨時の委員会を置くことができる。

第2章 委員会通則

第4条 委員会は、教授会の諮問する事項の審議及びその答申を行う。

第5条 委員会は、次に掲げる委員によって組織する。

- (1) 教授会の指名する委員長
- (2) 学科選出委員 各学科若干名 ただし、前号の委員長は除く。学科を置かない組織においては学部が選出する若干名。

2 委員長の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 委員長以外の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。

4 委員に欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

5 第3条に定める臨時の委員会にあっては、前4項によらず、教授会の定めるところに従って組織する。

第6条 委員会は、必要に応じ次に掲げる者を出席させ発言させることができる。ただし、このうち委員でない者は、議決権をもたない。

- (1) 当該委員会の属する学部の長
- (2) 学部選出の大学評議員
- (3) 附属教育研究組織の長
- (4) 他の委員会の長
- (5) 事務部局の長

第7条 委員長は、委員会を主宰する。

2 委員会に副委員長を置き、委員のうちから委員長が指名する。

3 副委員長は、委員長を助ける。

4 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、副委員長が、委員長の職務を行う。

第8条 委員長は、次の各号の一に該当する場合、委員会を招集する。

- (1) 学期の始まる月（定例）
- (2) 委員長が必要と認めたとき
- (3) 委員の3分の1以上の要求があったとき

第9条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ、議事を開き議決することができない。

第10条 委員会の議事は、委員の出席者の過半数をもって決する。ただし、可否同数の場合は、委員長の決するところによる。

第11条 委員会に関する事務は、委員長の監督の下に、事務局長が統括する。

第12条 委員会の議事録は、委員長の監督の下に、事務局長が作成し、委員会において確認する。

第3章 委員会所管事項

第13条 第2条に定める常設の委員会にあっては、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 教育・研究支援委員会は、教授会規程第2条の4第1項第5号のうち教員の教育研究活動に対する助成に関する事項および教授会規程第2条の4第1項第9号に関する事項
- (2) 予算委員会は、教授会規程第2条の4第1項第8号に関する事項

- (3) 学務委員会は、教授会規程第2条の4第1項第1号乃至第3号及び第6号に関する事項 ただし、学生の入学及び国際交流に関する事項は除く。
 - (4) 入試委員会は、教授会規程第2条の4第1項第1号のうち学生の入学に関する事項
 - (5) 資格審査委員会は、教授会規程第2条の4第1項第4号に関する事項
 - (6) 自己点検・評価委員会は、教授会規程第2条の4第1項第10号に関する事項
- 2 教授会は、教授会規程第2条の4第1項第5号及び第7号の事項を前項に定める例に準じていずれかの常設の委員会に所管させることができる。
- 第14条 第3条に定める臨時の委員会にあっては、教授会の定める事項を所管する。

第4章 雑則

第15条 この規程を運用するために必要な事項は、別に定める。

第16条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

- 2 跡見学園女子大学文学部教授会各種委員会規程（平成14年4月1日施行）及び跡見学園女子大学マネジメント学部教授会各種委員会規程（平成18年4月1日施行）を廃止する。

附 則（平成30年5月16日改正附則）

- 1 この規程は、平成30年5月16日から改正施行する。

附 則（平成31年2月22日改正附則）

- 1 この規程は、平成32年4月1日から改正施行する。

(目的)

第1条 この規程(以下「本規程」という。)は、跡見学園女子大学学則第1条の2第5項及び跡見学園女子大学大学院学則第3条第5項に基づき、跡見学園女子大学(以下「本学」という。)の自己点検・評価を行うために必要な事項を定める。

(自己点検・評価の目的)

第2条 自己点検・評価は、本学の設置の理念及び目的に照らし、教育研究水準の維持・向上及び社会貢献に資するため、本学の教育研究等の不断の改善及び改革を図ることを目的とする。

(自己点検・評価の組織)

第3条 本学は、前条に規定する自己点検・評価を、次の組織により円滑に実施する。

(1) 跡見学園女子大学大学評議会全学委員会規程第2条第5号に定める自己点検・評価委員会

(2) 本規程第6条に定める自己点検・評価推進委員会(以下「推進委員会」という。)

(自己点検・評価の統括)

第4条 学長は、前条各号に規定する組織を統括し、本学の自己点検・評価を行う。

2 学長は、前項を達成するために、大学執行部を指揮する。なお、ここでいう執行部は、学長が定めるところによる。

3 学長は、自己点検・評価委員会の提出した自己点検・評価報告を、大学評議会の議に基づき、公表する。

(自己点検・評価委員会所管事項)

第5条 自己点検・評価委員会は、全学委員会規程第13条第5号に基づき、次の各号の事項を審議し大学評議会に答申する。

(1) 自己点検・評価の基本事項の設定

(2) 認証評価及びその他の第三者評価に係る事項

(3) 推進委員会報告書の検証及び活用

(4) 前号に基づく自己点検・評価報告

(5) その他自己点検・評価のために必要な事項

(推進委員会)

第6条 推進委員会は、執行部成員及びその各部課等において実務を担う若干名の専任教職員(以下「実務委員」という。)をもって構成する。

2 学長は、年度の初めに、推進委員会の実務委員を任命する。但し、実務委員の任期は、連続して4年を超えることができない。

3 学長は、推進委員長となり、副学長が推進委員会を運営する。

4 推進委員会は、必要に応じて、委員以外の者を出席させ、発言させることができる。

第7条 推進委員会は、第5条第1号にいう基本事項に基づき、自己点検・評価を推進するために、次の各号の事項を行う。

(1) 自己点検・評価の実施要項の策定

(2) 本学の現状調査及び自己点検・評価報告書原案の作成

(3) その他自己点検・評価のために必要な事項

2 推進委員会は、翌年度の前項第1号の事項を例年3月末日までに、前項第2号の事項を例年10月末日までに取りまとめ、直近の大学評議会に提出しなければならない。

3 推進委員会は、第1項第2号の事項を行うために、部課等におく自己点検評価推進委員又は委員会と協働しなければならない。

(評価の活用)

第8条 学長は、自己点検・評価の結果を踏まえ、積極的にその結果を活用して教育研究活動の向上を図り、教育研究環境の整備充実を期し、大学の管理運営の改善に資するよう努めるものとする。

2 学長は、自己点検・評価の結果を、理事長に報告しなければならない。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、大学評議会の議を経て、学長が行う。

附 則（平成30年7月4日制定附則）

- 1 この規程は、平成30年7月4日から施行する。
- 2 平成9年6月11日施行の跡見学園女子大学自己点検・評価規程を廃止する。